

<視点>

主体的に学び、社会を生き抜く力をもった人材を育てます
 (1) きめ細やかな教育・保育の推進と体制整備

【関係性】A=5.4 B=4.3 C=2.1

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)
 A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5:想定を大きく上回る状況 4:想定以上の状況 3:想定どおりの成果
 2:改善が必要 1:見直しが必要

取組・事業名	事業の概要	平成30年度					内部評価	外部評価	到達目標の達成状況					備考
		年度当初の現状(課題等)	具体的な到達目標(有るべき姿・望ましい状況)-30年度末目標-	具体的な取り組み(計画・実施)	行動実績	到達目標の達成状況			H26	H27	H28	H29	H30	
1 香美市0歳から15歳までの「子どもの育ちの指標」を明らかにし、発達段階に応じた適切な教育の推進 (学校)	めざす子ども像の明確化と目標の共有 ・子どもの「育ちの指標」の作成 ・「育ちの指標」による保育・教育の実施 ・保・小・中・高合同の研修会の実施	・「育ちの指標」を活用した授業研究が実施されている。 ・小中学生を対象にキャリアアンケートを実施している。 ・自尊感情については、小学生77.3%、中学生69.2%	・全国学力テストの質問紙の中でキャリアアンケートと同じ項目6項目すべて80%以上 ・自尊感情については、小学生80%以上(全国76.3)、中学生は、70%以上(全国69.3)	①校内研究や公開授業等で、「育ちの指標」を意識した授業の実施。(特に生活科・総合的な学習の時間) ②教師が授業や学習活動の中で、子どもたちの考えを深めたり、広げたりできるような場面を作る。	○校内研究や公開授業等で、育ちの指標をもとにした授業の実施 ○保・小・中合同研修会の実施(8月) ○「ものべっこ生活リズム」研修会及び啓発	〔達成評価〕B ○全国学力調査のキャリアアンケートには、中学生の「将来の夢や目標」で73.7%。それ以外は80%以上。 ○自尊感情については、小学生が84.7%、(昨年よりも+7.4P)中学生が84.9%(昨年度よりも+15.7P)。	3	3	<p>① → ②</p> <p>目指す子ども像の明確化と目標の共有 ①子どもの「育ちの指標」の作成 ②「育ちの指標」による保育・教育の実施 ・保・小・中・高合同の研修会の実施</p>					
2 保小連携・小小連携・小中連携教育 (学校)	校種間連携、交流教育の推進 ・連携、交流教育の香美市の計画作成 ・目的を明確にした連携、交流学習の推進 ・保育所・小学校・中学校の連携推進	・保小の幼児と児童の交流はすべての小学校で実施。 ・小・中は、すべての中学校区で教職員連絡会を実施。 ・各小学校区・中学校区で、年度末の引継ぎ会(支援の必要な幼児や児童を中心)実施。	・各小学校区で、交流の年間計画を位置付ける。 ・中学校区で、「育てたい子どもの姿」を作成。 ・小学1年生・中1年生の「学校に行きたくないようなことがありますか」(Q-Uアンケート)否定的回答85%以上	①保幼小連携研修の実施(年間1回) ②保幼小交流の実施 ③小学校同士の交流の実施(龍洞プログラム等) ④支援の必要な幼児・児童・生徒の把握(シートによる引き継ぎ対象者50名) ⑤全保育小中学校で引き継ぎ会を実施。	○9月に全小学校3年生(約180人)を対象に龍洞洞プログラムを実施。 ○保幼小連携研修を年間1回実施 ○全小学校区で、保幼小交流活動の実施。 ○外国語を通して、小小連携を実施。 ○中学校区の連絡会の実施 ○支援の必要な幼児・児童・生徒の把握(シートによる引き継ぎ77名) ○全保育小中学校で引き継ぎ会を実施。	〔達成評価〕B ○交流の年間計画を立てることできていない。 ○大板中学校区では、「育てたい子どもの姿」が作成されている。 ○各小学校区で、保育・幼稚園との交流が年間複数回実施されている。 ○小学1年生・中1年生の「学校に行きたくないようなことがありますか」(Q-Uアンケート)否定的回答76.6%	3	3	<p>校種間連携、交流教育の推進 ・連携、交流教育の香美市の計画作成 ・目的を明確にした連携、交流学習の推進 ・保育所・小学校・中学校の連携推進</p>					
3 アプローチカリキュラム作成・実施 (学校)	児童生徒の円滑な教育の接続 ・保育・小学校でのアプローチカリキュラムの作成と、実施 ・保育所から小学校への接続を円滑にするために、園児と小学生、職員間等で交流をもち、ギャップを埋めるための就学前のカリキュラムを作成する。	・保育所のアプローチカリキュラムは市で作成されているが、園のカリキュラムは作成・実施されていない。 ・中学校に向けての連絡会は実施しているが、具体的な取り組みまでは至っていない	・全保育所で、小学校へ接続のためのアプローチカリキュラムの作成・実施(60%) ・中学校を意識した小学校区(横のつながり)の共通した取り組みの実施(100%)	①保育士・小学校教員が保幼小連携の研修に参加。 ②保育・幼稚園・小学校が協議できる場の設定(年1回以上) ③小中連絡会を年間3回実施。	○5月に、スタートカリキュラムの授業参観・研修の実施(各保幼小から1名以上参加) ○夏期休業中に、小学校の教員が保育園や幼稚園に保育体験。(約30名・半日~1日) ○各小学校で、年長児との交流会を実施。	〔達成評価〕B ○全小学校で、年長児との交流活動や教職員の保育職場体験は実施されているが、アプローチカリキュラム作成までは至っていない。 ○鏡野中学校区で、中学校を意識した交流が実施されている。	3	3	<p>児童生徒の円滑な教育の接続 ・保育、小学校でアプローチカリキュラムの ①作成と ②実施</p>					
4 スタートカリキュラム実施(小学校) (学校)	児童生徒の円滑な教育の接続 ・小学校でのスタートカリキュラムの作成と、実施	・香長小学校、舟入小学校でのスタートカリキュラムの作成・実施。	・小学校でスタートカリキュラムの作成・実施(85%以上)	①小学校教員が保幼小連携の研修に参加。 ②作成したカリキュラムを使った研修の実施・見直し	○5月に、スタートカリキュラムの授業参観・研修の実施(各保幼小から1名以上参加) ○全小学校で、スタートカリキュラムの作成・実施・見直し	〔達成評価〕A ○全小学校で今年度の実施記録を基にして、来年度のスタートカリキュラムを作成、実施できた。	4	4	<p>校種間連携、交流教育の推進 ・①保育(小学校入学に向けて) ②小学校でアプローチカリキュラムの作成と実施</p>					
5 インクルーシブ教育の推進 ①支援体制の確立 (学校)	園内・校内支援体制の確立と推進 ・全ての子どもが「わかる・できる」授業の実施 ・高知県版引継ぎシートの活用	・特別な教育的支援が必要な児童生徒のうち、特別支援学級100%、通常学級の個別の指導計画作成100%	・特別な教育的支援の必要な児童生徒の個別の指導計画作成100%	①学校訪問による点検・指導・助言 ②12月末の県実態調査にて検証	○特別支援学級在籍児童生徒個別の指導計画作成率100%。 ○特別支援学級在籍以外の要支援児童生徒への個別の指導計画作成率100%。	〔達成評価〕A ○特別支援学級在籍以外の要支援児童生徒への個別の指導計画作成率平成29年度92.6%から、平成30年度100%。 ○全ての子どもが「わかる・できる」授業の実施10校。 ○高知県版引き継ぎシート活用による引き継ぎ実施率100%。	4	4	<p>①園内・校内支援体制の確立と推進 ②全ての子どもが「わかる・できる」授業の実施・高知県版引継ぎシートの活用</p>					

<視点>

主体的に学び、社会を生き抜く力をもった人材を育てます
 (1) きめ細やかな教育・保育の推進と体制整備

【関係性】A=5.4 B=4.3 C=2.1

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)
 A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5:想定を大きく上回る状況 4:想定以上の状況 3:想定どおりの成果
 2:改善が必要 1:見直しが必要

取組・事業名	事業の概要	平成30年度					内部評価	外部評価	到達目標の達成状況					備考
		年度当初の現状(課題等)	具体的な到達目標(有るべき姿・望ましい状況)~30年度末目標~	具体的な取り組み(計画・実施)	行動実績	到達目標の達成状況			H26	H27	H28	H29	H30	
6 インクルーシブ教育の推進 ②高知県立山田養護学校との連携 (学校)	・県立山田養護学校との連携教育の確立と推進	・全小・中学校は特別な教育的支援についての研修や教育活動等で連携できている。 ・保育所は、保育コーディネーターを通じて連携できている。	・全保育所、全小・中学校が特別な教育的支援についての研修や教育活動等で連携できた(100%以上)	①特別支援教育学校コーディネーター合同研修を継続。巡回相談事業、特別支援学級等サポート事業、教育相談事業を通じて連携する。 ②県立山田養護学校との連携(研修講師・実践交流)	○保・幼・小・中・高・特別支援学校コーディネーター合同研修(1回)実施。 ○新任研修(1回)実施。 ○巡回相談事業(2回)実施。 ○実践交流事業(1回)実施。 ○特別支援学級等サポート事業(2回)実施。 ○教育相談(63→78名)実施。 ○県立山田養護学校との連携(WISC研修講師:1回)	〔達成評価〕A	4	4	山田養護学校との連携教育の確立と推進					
7 インクルーシブ教育の推進 ③関係各機関と連携した研修と支援 (学校)	・香美市特別支援教育研修の実施 ・児童虐待に関する研修の充実 ・専門家による教職員支援 ・家庭支援員による家庭教育支援	・保育所に家庭教育支援員(専任)を配置している。(物部地区、香北地区、なかよし保育所、あけぼの保育所に各1名) ・関係各機関(大学・医療等)の異動や教職員の異動により、市の支援体制の周知徹底と研修の見直しが必要。	・保育所に家庭教育支援員(専任)を配置している。(物部地区、香北地区、なかよし保育所、あけぼの保育所に各1名) ・特別な教育的支援が必要な子どもへの適切な対応ができる教職員の増加により子どもの発達が可能とされる。(支援会議での具体的な手立てが提案できる。)	①家庭教育支援員(専任)の継続配置。 ②教頭会研修で特別支援教育を戦略的に強化。 ③児童虐待に関する研修を各校年間1回以上実施。	○家庭教育支援員の継続配置。 ○教頭会研修にて管理職版ティーチャーズ・トレーニングを2回実施。 ○児童虐待に関する研修を各校年間1回以上実施。	〔達成評価〕A	4	4	・香美市特別支援教育研修の実施 ・高知県版引継シートを活用 ・児童虐待に関する研修の実施 ・専門家による教職員支援 ・家庭支援員による家庭教育支援					
8 インクルーシブ教育の推進 ④不登校対策 (学校)	子どもの学びを保障する取組 ・相談体制の充実 ・SSWの配置による児童生徒、家庭支援 ・香美市教育支援センターの充実 ・SCの配置による児童生徒、家庭支援	・小中学校とも不登校出現率(小0.8%、中7.39%)が全国平均値を上回っている。 ・SC、SSWの配置が、特別な教育的支援が必要な子ども、家庭14人に対し1人となっている。	・小中学校とも出現率が全国平均値以下となる ・SC、SSWの配置が特別な教育的支援が必要な子ども、家庭10人に対し1人となっている。	①教育相談講座に教職員を派遣。 ②全小中学校にSCを配置を継続。 ③SSWの3人体制を継続。 ④教育支援センターのアウトリーチ型SC配置を継続。 ⑤香美市子育て相談室心ふおこーの土曜日相談を継続。 ⑥校内支援会活性化事業の活用。	○教育相談講座への教職員の派遣4名。 ○全小中学校にSCを継続配置。教育支援センターにアウトリーチ型SCを継続配置。 ○SSWの3人体制を継続。 ○香美市子育て相談室心ふおこーの土曜日相談を継続。 ○校内支援会活性化事業の継続活用。(山田小学校:県下モデル校)	〔達成評価〕C	1	2	子どもの学びを保障する取組 ・教育相談の充実 ・SSWの配置による児童生徒、家庭支援 ・香美市教育支援センターの充実 ・SCの配置による児童生徒、家庭支援					
9 インクルーシブ教育の推進 ⑤いじめ対策・問題行動対策 (学校)	子ども、保護者の心に寄り添った取組 ・教育相談の充実 ・SC、SSWの配置によるきめ細かく継続的な児童生徒支援、およびその家庭支援 ・香美市教育支援センターの充実 ・Q-U検査活用による児童生徒の心の把握	・いじめを認知するアンテナが高くなり、いじめ認知件数が増加。 ・いじめ解決率100%	・いじめ解決100% ・「いじめはどんなことがあってもいけない」100%	①いじめアンケート年間2回と、いじめに関する研修年間1回以上実施。 ②年間2回のQ-U検査実施と分析。 ③子どもの実態把握を行い、個別面談等具体的な支援を行う。	○各校年間2回以上のいじめアンケートと年間1回以上の研修を実施。 ○専門家や外部機関との連携による対応。 ○Q-U(楽しい学校生活を送るためのアンケート)年間2回実施。分析を活用した校内研修及び児童生徒との個別面談等実施。	〔達成評価〕C	1	2	子ども、保護者の心に寄り添った取組 ・教育相談の充実 ・SC、SSWの配置によるきめ細かく継続的な児童生徒支援、およびその家庭支援 ・香美市教育支援センターの充実 ・QU検査活用による児童生徒の心の把握					

<視点>

主体的に学び、社会を生き抜く力をもった人材を育てます
 (2) 活力ある保育所・学校づくりの推進

【関係性】A=5.4 B=4.3 C=2.1

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)
 A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5:想定を大きく上回る状況 4:想定以上の状況 3:想定どおりの成果
 2:改善が必要 1:見直しが必要

取組・事業名	事業の概要	平成30年度					内部評価	外部評価	到達目標の達成状況					備考
		年度当初の現状(課題等)	具体的な到達目標(有るべき姿・望ましい状況)-30年度末目標-	具体的な取り組み(計画・実施)	行動実績	到達目標の達成状況			H26	H27	H28	H29	H30	
1 学校組織として教育活動を推進 (学校)	・組織的に取り組む学校経営の推進 ・学力向上を核にした学校経営の実施 ・学力向上に向け、確実なPDCAサイクル化した教育実践 ・先進地の学校経営について学ぶ視察研修 ・高知工科大学・県立山田高等学校・県立山田養護学校と連携して進める学校経営 ・コラボレーション会議との連携による事業 ・学校関係者評価の実施	・学校関係者評価の「知」に対する評価は、2校がBでその他の学校A以上である。 ・学校経営計画での評価でB以上でない学校は2校ある。 ・学校経営計画が全ての教職員で作成・共有されている。(学校訪問による聞き取り100%) ・各校の児童生徒・保護者に対する学校評価アンケートで「授業が分かりやすい」(80%以上に達していない学校が1校) ・「校区内の各校種で教育目標を共有する取組を連携した教育が行われている。」(全国学調・100%)	・「知」に対する評価で、学校経営計画「B以上」と学校関係者評価「A以上」にすべての学校がなる。 ・学校経営計画が全ての教職員で作成・共有されている。(100%) ・香美市は「教育に力を入れているまち」という意識(市民・80%) ・各校の児童生徒・保護者に対する学校評価アンケートで「授業が分かりやすい」(85%以上)、「校区内の各校種で教育目標を共有する取組を連携した教育が行われている。」(全国学調・99%)	①学校経営計画を全教職員が意識して取り組む学校づくりの支援(教育事務所の指導) ②コラボレーションと事業の実施 ・いじめサミット・プレゼンフェア・子どもの育ち長期調査 ・理科クラブ等	・年2回東部教育事務所アドバイザーとともにすべての学校を訪問し、学校経営計画の作成・進捗確認・指導を行っている。3回実施の学校もある。 ・コラボレーション会議を毎月実施し、各事業の進捗管理を行った。 ○学校関係者評価については、各学校運営協議会にて実施。 ○コラボ会議を毎月実施し、各事業の進捗管理を行った。	[達成評価] B ・経営計画をもとにチームとして取り組む姿が、訪問によって確認できている。経営計画の評価、2月末に取りまとめ。 ・学校関係者評価は3月中旬に取りまとめ。 ・「チーム学校を構築する」アンケートでは、2.2→2.8(4件法)で向上が見られる。 ・学校経営計画は、教職員によって作成・共有ができています。 ・香美市は「教育に力を入れているまち」という意識(市民・33%) ・各校の児童生徒・保護者に対する学校評価アンケートで「授業が分かりやすい」児童94%、保護者91% ・「校区内の各校種で教育目標を共有する取組、連携した教育が行われている。」(全国学調・100%)	3	3	→					組織的に取り組む学校経営推進 ・学力向上を核にした学校経営の実施 ・学力向上にむけ、確実なPDCAサイクル化した教育実践 ・大学教授、東部教育事務所等による研修 ・先進地の学校経営について学ぶ視察研修 高知工科大学・高知県立山田高等学校・高知県立山田養護学校と連携して進める学校経営 ・コラボレーションの会と連携による事業 学校関係者評価の実施 ・学校関係者評価
2 教職員に対する研修の充実 (学校)	香美市教職員総会・研究会(4月) 香美市教職員研修会(8月) 香美市保小中合同研修会(8月) 香美市教育研究会(年5回)	・8月の2回の研修後のアンケート結果「実践に生かせる」98% ・全体研修3回で、香美市の教育の方向性や課題を共有している。 また、香美市教育研究会や各種研修会を通して、研修の充実を図っている。	・研修会後アンケートで研修内容が活用できると回答(94%以上)	①香美市教職員総会・教育研究会(4月) ②香美市教職員研修会(8月) ③香美市保小中合同研修会(8月) ④香美市教育研究会(年5回) ⑤各種研究発表会(香美市内学校) ⑥各種研修会(香美市内教職員対象)の実施と内容の充実	[達成評価] A 香美市の教育施策の軸となる、「コミュニティスクール」、「学力向上」、「保幼小連携教育」に関する研修を年間を通して開催できたことで、香美市の教育の周知が図られた。 ①香美市教職員総会・教育研究会(4月13日) 香美市の教育の重点的施策について ②香美市教職員研修会(7月31日) ③香美市保小中合同研修会(8月18日) ④香美市教育研究会(年間5回) ⑤各種研究発表会(香美市内学校) ・読みを深める拠点校事業、教科間連携事業、道徳、英語指導教員配置事業 ⑥各種研修会(香美市内教職員対象) キャリア教育、特別支援教育、保小連携教育等	[達成評価] A 8月の研修会アンケートより「実践に生かせる内容であった。」98.5%	4	4	→					・香美市教職員研究会(4月) ・香美市教職員研修会(8月8日前後実施) ・香美市保小中合同研修会(8月第3土曜) ・教職員の資質向上のための研修実施
3 管理職研修の充実 (学校)	校長会 教頭会 管理職(校長・教頭合同)研修	・国、高知県、香美市の教育計画、事業等について理解できた校長、教頭はほぼ100%(全国学調の学校質問紙で確認) ・それに基づく学校経営の実施35%(チェックシートの項目Lv3以上)	・国、高知県、香美市の教育計画、事業等について理解できた校長、教頭(100%) ・それに基づく学校経営の実施(100%)	①校長会や教頭会(育成型)の実施と協議の場の充実 ・チェックシート(教育課程、授業及び学習状況、生徒指導)の内容を盛り込む ②校長、教頭合同研修の実施	・毎月の校長会の実施。 ・隔月の教頭会の実施。 教頭会テーマ(教育計画書、業務改善、特別支援教育、教育長講話) ・校長教頭合同研修会4月を実施	[達成評価] B ・定例校長会は毎月実施。 ・教頭会は主幹教諭も含め、交流を中心に行った。育成型の研修を進めた。 ・合同研修会は、日程調整で実施が困難だった。 ・国、高知県、香美市の教育計画、事業等について理解できた校長、教頭(100%) ・それに基づく学校経営の実施(100%)	3	3	→					・管理職(校長・教頭合同)に対する研修会
4 中堅教員研修の充実 (学校)	研究主任等学校経営に関わる教員の育成 ・モデルリーダー育成研修の実施 ・児童生徒理解研修の実施 ・特別支援教育研修の実施	・研究主任は、校内研修診断「研究主題の設定と追究」2.7以上(4件法) ・道徳教育の全体計画が整理できている。 ・特別支援教育について、校内支援会議が学校が主体になって行っている。100%	・研究主任の課題意識調査 校内研修診断「研究主題の設定と追究」3.5(4件法) ・道徳教育の全体計画が整理できている。(新学指対応) ・特別支援教育について、校内支援会議が学校が主体になって行っている。	①研究主任会の充実(市・年2回、県年2回) ②キャリア教育担当者会の実施(年3回) ③道徳教育推進地区協議会の実施(年3回) ④特別支援コーディネーター研(市・年4回)	①研究主任会の実施 香美市:5月11日、2月21日 県:6月19日、2月1日 ②キャリア教育担当者会(小学校はなし・中学校4回) ③道徳教育推進地区協議会年6回実施 ④特別支援コーディネーター研(市・年4回)実施	[達成評価] B ○研究主任用「校内研修会充実のための課題解決シート」校内研修診断結果 項目:「研究主題の設定と追究」3.12(4件法)・・・香美市学校平均 ○道徳教育の全体計画が整理できている。(中学校はH30年度完成) ○学校主体の校内支援会議100%	3	3	→					研究主任等学校運営に関わる教員の育成 ・モデルリーダー育成研修の実施 ・人間関係づくり、児童生徒理解研修の実施 ・特別支援教育研修の実施 ・児童生徒理解の研修の実施

<視点>

主体的に学び、社会を生き抜く力をもった人材を育てます
 (2) 活力ある保育所・学校づくりの推進

【関係性】A=5.4 B=4.3 C=2.1

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)
 A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5: 想定を大きく上回る状況 4: 想定以上の状況 3: 想定どおりの成果
 2: 改善が必要 1: 見直しが必要

取組・事業名	事業の概要	平成30年度					内部評価	外部評価	到達目標の達成状況					備考
		年度当初の現状(課題等)	具体的な到達目標(有るべき姿・望ましい状況) -30年度末目標-	具体的な取り組み(計画・実施)	行動実績	到達目標の達成状況			H26	H27	H28	H29	H30	
5 小中連携教育の推進 (学校)	子どもの育ちについて中学校区での共有の場の設定 ①授業の進め方 ②家庭学習のシステム構築 ③基本的な生活習慣の確立における連携	児童生徒の目指す姿(H29全国学調) ・朝食を摂る児童生徒(小88.1%、中85.9%) ・家庭学習 小学校 1時間(64.8%) 中学校 2時間以上(28.2%) ・テレビやゲーム、スマホ(学習外・平日)2時間以内 小学校 68.8% 中学校 60.4% ・スマホなどの使い方について、家の人との約束を守っているか。(41.8% 小:37.6% 中:46%)	児童生徒の目指す姿 ・朝食を摂る児童生徒(100%) ・家庭学習(平日)小学校 1時間(80%) 中学校 2時間(80%) ・テレビやゲーム、スマホ(学習外・平日)2時間以内 小学校 80% 中学校 80% ・スマホなどの使い方について、家の人との約束を守っているか。(79%以上)	①中学校区連携協議会の実施 ②育ちの一覧表を利用した協議の実施 ③保護者、地域を巻き込んだ研修会の実施	○各中学校区にて、連携協議会を開催 【鏡野中】6月18日、7月31日 「小中の円滑な接続について(学習面・生活面)」 【香北中】 全体会:5月23日、8月2日 管理職会:年間10回 小中の円滑な接続について、IB研修会 【大柘中】年間10回以上実施(学校、保護者、地域) 「保小中の円滑な接続について(学習面・生活面)」 「ものべっこ生活リズム」研修会及び啓発	〔達成評価〕C H30全国学調及び香美市子ども長期調査より ・朝食を摂る児童生徒 小学校(6年生) 80.7% 中学校(3年生) 75.9% ※最肯定 ・家庭学習(小:1時間以上、中:2時間以上) 小学校(3~6年生) 66.5% 中学校(1~3年生) 22.9% ・テレビやゲーム、スマホ(学習外・平日)2時間以内 小学校(3~6年生)69.9% 中学校(1~3年生)46.4% ・スマホなどの使い方について、家の人との約束を決めている。 →小65.4%、中58.2%	2	2	 <p>子どもの育ちについて中学校区での共有の場の設定(中学校区連携協議会等での共有)</p> <p>①授業の進め方の連携 ・小中学校での授業(授業研究や乗入れ)、ノート指導の統一等での連携推進</p> <p>②家庭学習のシステム構築、実践 ・小中学校の連携した家庭学習の仕方等</p> <p>③基本的な生活習慣の確立における連携 ・早寝、早起き、朝ごはん等 ・ゲームをしている時間等 ・スマートフォン等の使用の仕方等</p>					
6 教育研究所による学校支援の充実 (学校)	研究活動の推進 ・キャリア教育 ・外国語活動 ・特別支援教育 学校支援推進 ・教職員育成 ・学力及び意識実態把握に関する調査及び分析 ・キャリア教育 ・特別支援教育	【学力】H29「全国学力・学習状況調査」(全国平均との差) 小学校:国+0.4p、算+4.8p 中学校:国+0.2p、数-5p 【外国語】外国語意識調査 「外国語を学ぶのは楽しい」小学校高学年:89% 「英語の授業が分かる」 中学2年生:81%(強い肯定44.7%) 【英検】 英検3級程度の力を持った中学3年生32.9% 【特別支援】 ・特別な教育的支援が必要な児童生徒の個別の指導計画作成100%	【学力】 H30「全国学調」で小学校は国語、算数とも全国比5P以上、中学校は国語、数学とも全国平均値以上 【外国語】意識実態調査 「外国語を学ぶのが楽しい」小学校高学年 90% 「英語の授業が分かる」 中学2年生60%以上 【英検】 英検3級程度の力を持っている中学3年生 40% 【特別支援教育】 ・特別な教育的支援が必要な児童生徒の個別の指導計画作成99%	【学力】 ①全国学力・学習状況調査結果集計および分析 ②香美市子どもの育ち長期調査集計および分析 【外国語】 ③香美市外国語意識実態調査集計および分析 ④英検IBA結果分析 ⑤各学校への支援訪問 【特別支援】 ⑥学校訪問による点検・指導・助言 ⑦12月末の県実態調査にて検証	【学力】 ①全国学力・学習状況調査結果集計および分析(6月校長会に提供) ②香美市子どもの育ち長期調査集計および分析(9月、2月校長会に提供) 【外国語】 ③香美市外国語意識実態調査集計および分析(5月、9月、2月 英語推進委員会に提供) ④英検IBA結果分析(2月校長会に提供) ⑤各学校への支援訪問(通年) 【特別支援】 ⑥学校訪問による点検・指導・助言 ⑦12月末の県実態調査にて検証	〔達成評価〕B 【学力】H30「全国学力・学習状況調査」(全国平均との差) 小学校:国+1.3p、算+2.5p 中学校:国+2.4p、数+4.0p 【外国語】外国語意識調査 「外国語を学ぶのは楽しい」小学校高学年:88.7% 「英語の授業が分かる」 中学2年生:66%(強い肯定23%) 【英検】 英検3級程度の力を持った中学3年生45.5% 【特別支援】 ・特別な教育的支援が必要な児童生徒の個別の指導計画作成100%	3	3	 <p>研究活動推進 ・キャリア教育(3つの柱) ・外国語活動、特別支援教育等 ・広報、啓発活動等</p> <p>学校支援推進 ・教職員育成 ・学力向上への取組推進と支援 ・キャリア教育推進 ・特別支援教育推進</p>					
7 保育職員の研修 (幼保)	・総合研修 ・部会ごとの研修 ・ティーチャーズ・トレーニング	・研修回数等は確保されており外部の専門家による研修割合も増加してきたが、マンネリ化した内容で実施している研修がある。 ・保育職員総合研修(4回) ・18部会に分散して研修(各4回) ・県等の主催による研修会への参加	・専門家による研修への参加の割合を増やす(50~75%程度) ・保育職員総合研修の実施 ・ティーチャーズ・トレーニングの実施	①保育職員総合研修(4回) ②18部会に分散して研修(各4回) ③県等の主催による研修会への参加 ④研修について保育職員にアンケート調査実施 ⑤ティーチャーズ・トレーニングの実施(8名・9回)	・保育職員総合研修(年4回実施) 実施日:4/5・8/18・10/27・1/12 ・保育職員18部会ごとの研修(各部会/年4回実施 述べ72回) ・ティーチャーズ・トレーニング(6・7月⇒8名・8回、12月⇒8名・1回実施) ・県等の主催による研修会への参加	〔達成評価〕B ・研修実施回数は、計画通りであり、参加も多くある。 ・専門家による研修への参加の割合22%(72回中16回) ・ティーチャーズ・トレーニングは各園からの参加があり、市全体の特別支援保育のスキルアップに繋がっている。 ・県等主催の研修会へ参加できる機会をさらに増やしたい。	3	3	 <p>・保育職員総合研修(年4回) ・部会ごとの研修(18部会年各4回) ・ティーチャーズ・トレーニング ・県等の主催による研修会への参加</p>					
8 香美市子ども・子育て支援事業計画の実施 (幼保)	香美市における教育・保育及び子ども・子育て支援事業計画の充実のほか、母子保健事業、ひとり親への支援施策の展開等、子どもを取り巻く各種支援の包括的な整備に向けた計画を定める。	・計画に基づく事業達成65% 現場努力だけでは実施できない計画への取組みが課題 ・土曜日11時間保育の実施→なかよし・大柘保育園(H28未実施)、片地・新改保育園(H29未実施)	・市の子ども・子育て支援事業計画に基づく事業のうちの80%以上を実施する。	①事業の実施状況の確認・評価 ②計画の中の取組事業(一部) ・なかよし保育園での土曜日11時間保育の実施 ・片地・新改・大柘保育園での土曜日11時間保育の必要性の検討	・事業の実施状況の確認・評価(H30.9/14、11/19に香美市子ども・子育て会議開催、2/12開催予定) ・計画の中の取組事業の振り返り及び事業の見直し等を行っている。	〔達成評価〕A ・事業の確認・評価については、子ども・子育て会議を招集し、審議している。 ・市の子ども・子育て支援事業計画に基づく事業のうちの93%(75/81)が実施できた。 ・検討はしたが、なかよし・片地・新改・大柘保育園での土曜日11時間保育は実施しなかった。	4	4	 <p>香美市子ども・子育て支援事業計画</p> <p>①計画の作成 ②計画に沿った事業の実施</p>					

<視点>

主体的に学び、社会を生き抜く力をもった人材を育てます
(3) たくましく生きる人間力を培う教育の推進

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)
A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5:想定を大きく上回る状況 4:想定以上の状況 3:想定どりの成果
2:改善が必要 1:見直しが必要

取組・事業名	事業の概要	平成30年度					内部評価	外部評価	H26	H27	H28	H29	H30	備考
		年度当初の現状(課題等)	具体的な到達目標(有るべき姿・望ましい状況)-30年度末目標-	具体的な取り組み(計画・実施)	行動実績	到達目標の達成状況								
1 学力向上プロジェクト事業 (学校)	学力向上プロジェクト ・大学教授、東部教育事務所等による研修 ・標準学力調査による到達度把握 ・学力向上支援員の配置 ・学力先進地視察実施 ・若年教員を育成するシステム構築と実施 ・研究主任会の充実 ・高知工科大学、山田高校生による学習ボランティア活動の推進	○平成29年度「全国・学力状況調査」(全国との差) 【小】国A-0.8p B+1.5p 算A+7.4p B+2.1p 【中】国A-1.4p B+1.8p 数A-5.8p B-4.1p ○H29「高知県学力定着状況調査」(中2) 国+2.4p(市61.5% 県59.1%) 社+3.1p(市43.9% 県40.8%) 数+8.5p(市52.1% 県43.6%) 理+6.2p(市47.9% 県41.7%) 英-0.3p(市49.3% 県49.6%) ○H28中3の進路実現 97% ○H28標準学力調査(中2) 全国との差 国-0.3p(市70.1% 全国70.3%) 数+3.2p(市61.6% 全国58.4%)	・H30「全国学調」で小学校は国語、算数とも全国比5P以上、中学校国語、数学とも全国平均値以上 ・県学力調査で小学校、中学校とも高知県平均値3P以上。 ・学力調査の全ての教科で0点か0人 ・中学3年生の進路保障100% ・標準学力調査(中2)国語全国比+3P、数学+3P	①東部教育事務所等指導主事の招聘 ②各種研修会の実施 ・研究主任会 ・中学校5教科部会 ・教育研究会 ・教職員研修会 ③各事業における公開授業の実施	①東部教育事務所指導主事の招聘 香美市内全学校において、指導主事を招聘した校内研究会を実施 ②各種研修会の実施 ・研究主任会の実施(県学力研究主任会)6月19日、2月1日(市研究主任会)5月11日、2月21日 ・中学校5教科部会全教科 年間3回の実施 ・教育研究会の実施 年間3回実施 ③県指定事業における公開授業研究会の実施 ・読みを鍛える公開授業研究会(山田小)6月20日他、全6回(鏡野中)6月22日他、全11回 ・授業づくり講座(舟入小)7月4日、1月31日 ・英語教員配置事業(大宮小)6月21日他、全3回	〔達成評価〕B ○平成30年度「全国・学力状況調査」(全国との差) 【小】国A+0.3p B+2.3p 算A+3.5p B+1.5p 【中】国A+1.9p B+2.8p 数A+2.9p B+5.1p ○H30「高知県学力定着状況調査」※3月結果公表 ○H30中3の進路実現 97% (3月末) ○H30標準学力調査(中2) 全国との差 国 +1.6p(香美市65.8% 全国64.2%) 数 +0.2p(香美市58.3% 全国58.1%)	3	3					学力向上プロジェクト ・大学教授、東部教育事務所等による研修 ・標準学力調査の実施(小1~中3まで) ・学力向上支援員の配置(山田小学校) ・学力先進地視察実施 ・若年教員を育成するシステム構築、実施 ・全小中学校への指導主事による指導 ・研究主任会の充実 ・高知工科大学、山田高等学校学生、生徒による学習ボランティア支援活動の推進	
2 中学校学力向上推進 (学校)	中学校学力向上推進 ・中学校教員の授業改善、研究授業実施 ・学力向上アドバイザー派遣(退職教員による若年教員指導と支援) ・数学、理科学力向上補助員の配置 ・高知県教育委員会作成シート活用促進 ・中学校5教科部会の活性化 ・中学校への工科大生派遣	○H29「標準学力調査」結果(中2) 国-0.3p(市70.1% 全国70.3%) 社-6p(市45.9% 全国51.9%) 数+3.2p(市61.6% 全国58.4%) 理-4.8p(市47.8% 全国52.6%) 英-2.4p(市58.9% 全国61.3%) ○H29「高知県学力定着状況調査」(中2) 国+2.4p(市61.5% 県59.1%) 社+3.1p(市43.9% 県40.8%) 数+8.5p(市52.1% 県43.6%) 理+6.2p(市47.9% 県41.7%) 英-0.3p(市49.3% 県49.6%)	・H30中2の「標準学力調査」4月実施(国比+3p以上) ・H30中2の「高知県学力定着状況調査」1月実施(県比+3p以上)	①東部教育事務所等指導主事の招聘 ②各指定事業における研究の充実 「読み」を来る拠点校事業(鏡野) 学力向上推進対策事業(鏡野) 中学校組織力向上のための実践研究事業(鏡野) ・教科間連携事業(県指定+大新)(市指定+香北) ・英語指導員教員配置による英語教育推進事業(市) ③支援員の配置(鏡野) ④中学校5教科部会及び教育研究会の実施	①東部教育事務所指導主事の招聘 香美市内全学校において、指導主事を招聘した校内研究会及び教科会の実施 ②各指定事業における研究の充実 「読み」を来る拠点校事業(鏡野中)6月22日他、全11回 ・学力向上推進対策事業 ・中学校組織力向上のための実践研究事業 ・教科間連携事業(大新中) ・英語指導員教員配置事業 ③学力向上に係る支援員の配置(鏡野)1名 ④中学校5教科部会の実施 全教科 年間3回実施 教育研究会の実施 年間3回実施	〔達成評価〕B ○H30「標準学力調査」(中2)結果 国-0.2p(香美市70.1% 全国70.3%) 社-6.5p(香美市45.7% 全国52.2%) 数+3.2p(香美市61.6% 全国58.4%) 理-5.3p(香美市48.4% 全国53.7%) 英-3.0p(香美市48.6% 全国51.6%) ○H30「高知県学力定着状況調査」※3月結果公表	3	3					中学校学力向上推進 ・中学校教員の授業改善、研究授業実施 ・香美市学力向上スーパーバイザー派遣(退職教員による数学、理科、外国語科若年教員指導と支援) ・数学、理科学力向上補助員の配置(鏡野中学校) ・高知県教育委員会作成シート活用促進 ・中学校5教科部会の活性化、教育実践推進	
3 香美市チャレンジ塾 (学校)	各校区での子どもの学び場の整備 ・放課後子どもプランの実施	・H29「標準学力調査」全国平均正答率比較 中1 -7.7p~-2p(国社数理) 中2 -6p~+3.2p(国社数理英) 小4 +3.3p~+4.3p(国+3.3 算+4.3) 小5 -2.4p~+0.2p(国-2.4 算+4.3)	・H30「標準学力調査」の達成率全国平均以上	①放課後子ども教室(舟入小・片地小) ②放課後等学習支援事業(放課後および長期休業中)をほとんどの学校で実施。	放課後子ども教室(舟入小、片地小) 放課後学習教室(鏡野中) 放課後等学習支援事業(放課後および長期休業中)をほとんどの学校で実施している。 (人の確保が難しい)	〔達成評価〕B ・H30「標準学力調査」全国平均正答率比較 中1 -2.8p~+0.9p(国社数理) 中2 -6.5p~+1.6p(国社数理英) 小4 -0.3p~+4.6p(国-0.3 算+4.6) 小5 +1.0p~+4.7p(国+1.0 算+4.7)	3	3					各校区での子どもの学び場の整備 ・放課後子どもプラン	
4 道徳教育の推進 (学校)	香美市道徳教育連絡協議会による道徳教育の推進 ・心のノート、ふるさとの志、高知の道徳の活用促進 ・道徳の授業の質、教員の指導力の向上 ・家庭、地域社会を巻き込んだ取組の実施	・平成29年度全国学力学習状況調査質問紙(平成28年度比較)「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する」小: +4.4 中: -2.5「人の気持ちのわかる人になりたい」小: +4.6 中: +4.1	・全国学力・学習状況調査で、「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する」小: +4.4 中: -2.5「人の気持ちのわかる人になりたい」小: +4.6 中: +4.1	①香美市道徳教育推進地区協議会(わがまちの道徳教育推進のための会議)を中心とした道徳教育の推進 ②高知県道徳教育推進拠点校(舟入小学校)事業の活用	○香美市道徳教育推進地区協議会(わがまちの道徳教育推進のための会議)を年間4回実施し、道徳意識調査結果を共有・分析しながら、地域・家庭とともに取り組む道徳教育に取り組んだ。 ○高知県道徳教育推進拠点校(舟入小)の研究を東部地区小中学校に発信した。(公開授業研究実施) ○香美市全小中学校道徳参観日実施。(相互参観を実施) ○「家庭で取り組む高知の道徳」について、香美市広報掲載にて啓発。	〔達成評価〕B 平成30年度全国学力学習状況調査質問紙 ○「学校の決まりを守っている」93.6%(+1.3%) ○「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する」→項目削除 ○「人の気持ちのわかる人間になりたい」→項目削除	3	3					・香美市道徳教育連絡協議会による推進 ・心のノート、ふるさとの志、高知の道徳活用推進 ・道徳の授業の質、教員の指導力向上 ・家庭、地域社会を巻き込んだ取組の実施	
5 人権教育の推進 (学校)	いじめ防止サミットへの積極的な参加支援 ・人権参観日の実施支援 ・学校における家庭、教職員の研修実施支援	平成28年度全国学力学習状況調査質問紙(全国比) ○「自分には良いところがあると思いませんか。」小: 77.3(-0.6P)中: 69.2(-1.5P) ○「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」小: 92.6(-5.4P)、中: 97.2(+1.2P)	児童生徒の意識の自尊感情に係る部分の向上 ・全国学力・学習状況調査で小学校6年生、中学校3年生とも全国値以上となる ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の回答(100%)	①教師が授業や学習活動の中で、子どもたちの考えを深めたり、広げたりできるような場面を作る。 ②いじめサミットの実施 ③人権参観日の講演会支援	○いじめ防止サミットの実施(8月28日) ○人権参観日への講演会支援(大新中)	〔達成評価〕B 平成30年度全国学力学習状況調査質問紙(全国比較) ○「自分には良いところがあると思いませんか。」小: 84.7(全国84)+0.7P、中: 84.9(全国78.8)+1.6P ○「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」小: 100%(+3.2P)、中97.2%(+1.7P)	3	3					人権教育の推進 ・各小中学校のいじめ防止サミットへの積極的な参加支援 ・人権参観日の実施支援 ・学校における家庭、教職員の研修実施支援	

<視点>

主体的に学び、社会を生き抜く力をもった人材を育てます
(3) たくましく生きる人間力を培う教育の推進

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)
A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5: 想定を大きく上回る状況 4: 想定以上の状況 3: 想定どおりの成果
2: 改善が必要 1: 見直しが必要

取組・事業名	事業の概要	平成30年度					内部評価	外部評価	到達目標の達成状況					備考
		年度当初の現状(課題等)	具体的な到達目標(有るべき姿・望ましい状況) -30年度末目標-	具体的な取り組み(計画・実施)	行動実績	到達目標の達成状況			H26	H27	H28	H29	H30	
6 (学校)	図書館教育の推進 学校や家庭、地域における読書活動の推進 ・香美市子ども読書活動推進計画の推進 ・学校図書館の整備 ・図書支援員の配置 ・図書支援員の資質向上研修の実施	○学校図書館コーディネーターを軸とし、学校間及び市立図書館との連携が強化された。 ○図書館資料を活用した授業づくりのモデル校として、山田小が鏡野中が研究を行い、市内学校へ研究内容を普及した。 ○鏡野中学校の学校図書館にPCが設置できていない。(H30年度設置予定)	・学校に図書支援員を配置(小中100%) ・学校図書館にPCが整備されている。 ・市立図書館と学校図書館の連携がとれている。 ・教員が図書館資料を活用した授業を展開できる。(並行読書)支援員からの聞き取り100%	①図書支援員の配置(市内5名) ②学校図書館コーディネーターの配置 ③図書支援員の研修(教員と合同の研修も実施) ④図書資料の活用に関する研修の充実 ⑤県指定事業の活用 ⑥「学校図書館を活用した『読み』」を認める拠点校事業(山田小・鏡野中)	①図書支援員の配置 香美市内小中学校 5名 ②学校図書館コーディネーターを配置 ③図書支援員研修の実施 実施回数:6回 (図書担当教員との合同研修2回を含む) ④⑤図書資料の活用に関する公開授業研究会の実施(鏡野中、山田小)	[達成評価] B ○学校に支援員配置100% ○学校図書館コーディネーターを軸とし、学校間及び市立図書館との連携が強化された。 ○図書館資料を活用した授業づくりのモデル校として、山田小や鏡野中が研究を行い、市内学校へ研究内容を普及した。	3	3						学校や家庭、地域における読書活動の推進 ・香美市子ども読書活動推進計画推進 ・情報センターとしての学校図書館の整備 ・図書支援員の配置 ・図書支援員の資質向上研修の実施
7 (学校)	体力の向上 健康的な生活を送るための運動習慣を確立する。 ・運動の習慣化に対する支援	・H29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(体力合計点)、小学5年男子56.77(全国4位)、女子56.46(全国15位)、中学2年男子40.47(全国44位)、女子46.49(全国47位)。 H29年度「一週間で運動・スポーツを1日何時間実施しているか(体育の授業以外、全国比較)」小5年男子466.96時間(-148.8時間)、女子329.45時間(-45.2時間)、中2年男子914.35時間(-58.53時間)、女子555.75時間(-143.6時間)	・体力の値が全国平均値以上となる(全国体力・運動能力、運動習慣等調査:体力合計点 全国平均以上) ・健康な生活を送るための運動習慣がついている(全国体力・運動能力、運動習慣等調査:「一週間で運動・スポーツを1日何時間実施しているか(体育の授業以外)」全国平均以上)	①新・高知のこども体力アップアクションプランの活用 運動部活動サポート事業・運動部活動指導員活用事業の活用 ②体力・運動能力テストを香美市全児童生徒が実施し、その結果を各校で分析し対策を実施する。 ③運動する楽しさと運動量を確保した教科体育の充実を目的とした体育科研修の実施	○運動部活動サポート事業活用(大塚中) ○運動部活動指導員配置促進事業(鏡野中) ○体力・運動能力テスト全児童生徒実施(体育保健課長及び指導主事による訪問により、指導助言を受けた 鏡野中)	[達成評価] B ○体力の値(体力合計点):小5男+2.3女+4.0、中2男-2.7 女-2.4 ○1週間の運動時間1時間未満の子ども 小5男 +3.5 女-0.8、中2男 -8.4 女-11.7	3	3						健康な生活を送るための運動習慣を確立する取組 ・運動の習慣化に対する支援 ・地域人材活用支援
8 (学校)	健康な生活の推進 児童生徒の基本的な生活習慣の確立を図る取組 ・基本的な生活習慣の確立推進 ・体力と健康、食育を関連させた取組の推進	・早寝・早起き・朝ごはんの定着・香美市食育推進計画(小5、中2調査) 毎日朝食を食べる小81.1%、中77.7% 起床時間6時30分 小学5年58.9% 中学2年63.5% 就寝時間 小学5年(22時)58.4% 中学2年(23時)64.9%	・早寝・早起き・朝ごはんの定着 香美市食育推進計画(小学5年生、中学2年生調査)の次の目標数値を達成する 毎日朝食を食べる95%以上 起床時間6時30分 小学5年70%以上 中学2年60%以上 就寝時間 小学5年(22時)60%以上 中学2年(23時)60%以上	①小学生「生活リズムチェックカード」の活用 ②健康教育教材「よりよい生活習慣のために」を全小中学校で活用 ③低学年用家庭で学ぶリーフレットの活用 ④体育・健康アドバイザー事業の活用 ⑤香美市食育ハンドブック(中学校版)の活用	○小学生「生活リズムチェックカード」の活用。 ○健康教育教材「よりよい生活習慣のために」を全小中学校で活用。 ○低学年用家庭で学ぶリーフレットの活用。 ○県教委保健体育課の助言(鏡野中) ○香美市食育ハンドブック(中学校版)を、保健体育・家庭科・給食指導・委員会活動・全中学校でJA女性部との調理実習等で活用。塩分濃度計を使った測定等、継続して食育煮取り組むことができた。	[達成評価] B ○毎日朝ごはんを食べている割合 小5 -4.1P、中2 -17.3P ○朝6時半までに起きる子の割合 小5 -13.5P、中2 -2.7P ○就寝時間 小5 +1.3P、中2 -2.7P	3	3						香美市食育推進計画 児童生徒の基本的な生活習慣の確立を図る取組 ・基本的な生活習慣の確立推進 ・体力と健康、食育を関連させた取組の推進
9 (学校)	キャリア教育の推進 キャリア教育の推進 ・キャリアチャレンジデイ、キッズチャレンジデイの実施 ・キャリアの講師を招聘しての講演会 ・教職員、家庭、地域に対する研修会の実施	・「郷土への愛着」 小6年生:89% 中3年生:78% ・「自分には、よいところがあると思いませんか」 小学校:77.3(全国77.9)-0.6P、中学校:69.2(全国70.7)-1.5P ・「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」 小6年生:81.8 中3年生:68.5 ④キャリアチャレンジデイ・キッズチャレンジデイ実施	・「郷土への愛着」 小6年生:89%以上 中3年生:78%以上 ・「自分には、よいところがあると思いませんか」 小6、中3生:全国+1.5P ・「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」 小6年生:81以上 中3年生:68以上 ・キャリアチャレンジデイ・キッズチャレンジデイ継続	①各学校で教科・総合的な学習の時間の中での地域学習の実施 ②教師が授業や学習活動の中で、子どもたちの考えを深めたり、広げたりできるような場面を作る。 ③土曜授業の実施、内容の充実	○全小中学校で、地域学習の実施 ○キャリアチャレンジデイの実施(10月、生徒約320人、ボランティア約130人) ○各キッズチャレンジデイの実施(11月~12月)	[達成評価] B ○「郷土への愛着」 小6:89.6%(+0.6P)、中3:80%(+2.0P) ○「自分には良いところがあると思いませんか。」小:84.7(全国84)+0.7P、中:84.9(全国78.8)+1.6P ○「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦する」→項目削除 ○キャリアチャレンジデイ・キッズチャレンジデイ実施	3	3						キャリア教育の推進 ・キャリアチャレンジデイ ・キッズチャレンジデイの実施 ・キャリアの講師を招聘しての講演会 ・教職員、家庭、地域に対する研修会の実施

<視点>

市民が協働し、ともに支え合い、高め合う地域社会を築きます

(1) 香美市のたからを活かしたふるさと教育の推進

【関係性】A=5.4 B=4.3 C=2.1

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)

A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5:想定を大きく上回る状況 4:想定以上の状況 3:想定どおりの成果

2:改善が必要 1:見直しが必要

取組・事業名	事業の概要	平成30年度					内部評価	外部評価	到達目標の達成状況					備考
		年度当初の現状(課題等)	具体的な到達目標(有るべき姿・望ましい状況)-30年度末目標-	具体的な取り組み(計画・実施)	行動実績	到達目標の達成状況			H26	H27	H28	H29	H30	
1 香美市社会科副読本活用推進(支援員配置)(社会教育施設の活用)(学校)	香美市社会科副読本の活用 ・ふるさとプログラム支援員配置 ・テスト、指導書、電子版作成	「自分の住んでいる地域が好きである」小6年生:89% ・香美市社会科副読本改訂版完成 ・香美市社会科副読本改訂電子版完成	・児童生徒の意識「私は自分の住んでいるところが好きだ」(H26年56.1%→H30年70%) ・社会科副読本改訂版の完成	①龍河洞プログラムの実施(全小3年生対象) ②各学校で教科・総合的な学習の時間の中の地域学習の実施 ③香美市社会科副読本の執筆・作成	○9月に全小3年生(約180人)を対象に龍河洞プログラムを実施。 ○年間8回の社会科副読本編集委員会の実施(改訂版の執筆)	〔達成評価〕 B ○「自分の住んでいるところが好きである。」 小6:89.6%、中3:80% ○社会科副読本改訂版未完成	3	3	 香美市社会科副読本の活用事業 ・ふるさとプログラム支援員配置 ・テスト、指導書、電子版作成					
2 香美市ふるさとプログラムの実施(学校)	香美市ふるさとプログラム ・香美市ふるさとプログラムの作成と実施 ・香美市の社会教育資源の積極的活用	・香美市の資源を活用した学習の実施(中卒業時) 龍河洞100% 高知工科大学100% 吉井勇記念館26% 特産物100% 「自分の住んでいる地域が好きである」 小6年生:89% 中3年生:78%	・香美市の教育資源を活用した学習ができた(中卒業時) 龍河洞(100%) 香美市の特産物(100%) 高知工科大学(100%) 吉井勇記念館(50%) 特産物(100%) ・児童生徒の意識「私は自分の住んでいるところが好きだ」 (H26年56.1%→H30年70%)	①各学校で教科・総合的な学習の時間の中の地域学習の実施。 ②香美市内小3生対象の龍河洞プログラムの実施・中3生対象キャリアチャレンジデイの実施。	○9月に全小3年生(約180人)を対象に龍河洞プログラムを実施。 ○10月に全中学1・2年(約320人)を対象にキャリアチャレンジデイの実施 ○小学校で、社会科や総合的な学習の時間の中で香美市の社会教育資源を活用。	〔達成評価〕 A ○「自分の住んでいるところが好きである。」 小6:89.6%(-0.1P)、中3:80%(+1.9P)	4	4	 香美市ふるさとプログラム ・香美市ふるさとプログラムの作成と実施 ・香美市社会教育資源の積極的活用(龍河洞、吉井勇記念館等の活用)					
3 ・香美市の山の学習(山の学習)(学校)	香美市山の学習 ・森林、物部川学習の推進 ・「山の学習事業」の積極的利用	中学3年生対象 ・森林学習、児童生徒体験(100%)実施 ・香美市の山に登ったことがある。(23%) ・物部川で活動したことがある。(91%)	・香美市森林学習、児童生徒体験(100%) ・香美市の山に登ったことがある。(50%) ・物部川で活動したことがある。(100%)	①②③全学校で「山の学習事業」や教科・総合的な学習の時間を活用した森林学習の実施	○香美市内全小中学校が、事業実施計画に基づいた取組を行った。	〔達成評価〕 B ○・香美市森林学習、児童生徒体験(100%) ・香美市の山に登ったことがある。(85%) ・物部川で活動したことがある。(91%)	3	3	 香美市山の学習 ・森林・物部川学習の推進					
4 ・香美市小中学校子ども会議子ども議会(毎年実施)(学校)	・香美市子ども会議の開催 ・香美市子ども議会の開催	・子ども祭りの開催(小中7校参加)	・子どもたちの街づくりへの参画、地域の祭り等への参加(85%以上) ・香美市いじめサミットの実施 ・香美市子ども祭りの開催	①子ども祭りの実施(年間5回) ・子ども祭りのポスター作成 ・子ども祭りの計画・実施 ②いじめサミットの実施(山田高校の生徒会を絡ませたサミットの実施)	○香美市いじめ防止サミットの実施(8月28日・参加者約50名) ○いじめ防止サミット新聞の作成。	〔達成評価〕 A ○いじめ防止サミットを受けて、二学期の各学校での取組みを報告。取組みについて、いじめ防止サミット新聞を作成予定。	4	3	 ・香美市子ども会議の開催(香美市について自分ができること等を話し合う会議) ・香美市子ども議会の開催					
5 食育の推進 香美市食育推進計画(学校)	健康と食を関連させた食育推進 ・健康と食を関連付けた教育実践の取組	・香美市食育推進計画指標(前年比) 早寝(小5:+1.7%中2:+34.2%)早起き(小5:+7.4%中2:+6.8%)朝ごはん(小5:-5.4%中2:+14.6%)	・早寝・早起き・朝ごはん(平成24~29年度実施香美市食育推進計画の目標値を達成するかそれ以上)	①香美市食育推進庁内検討委員会との連携。 ②食育ノート・食育ハンドブック(中学校版)の活用。 ③給食試食会や食育研修等の実施。	○香美市食育庁内会(3回実施) ○食育ノート・食育ハンドブックの活用調査と活用例の配付。 ○栄養教諭の活用による給食試食会・食育研修・アイデアレシピの作成。 ○全小中学校でヘルスメイトの活用 ○全中学校で香美市の地場産品を使った調理実習の実施(JA高知県香美地区女性部との連携)	〔達成評価〕 B ○毎日朝ごはんを食べている割合 小5 -4.1P、中2 -17.3P ○朝6時半までに起きる子の割合 小5 -13.5P、中2 -2.7P ○就寝時間 小5 +1.3P、中2 -2.7P	3	3	 健康と食を関連させた食育推進 ・健康と食を関係付けた教育実践の取組					
6 香美市防災教育の推進(学校)	防災教育の推進 ①防災・減災の知識の確立 ②危険回避できる力の要請 ③避難行動 ④災害時に役立つ情報と防災活動に積極的に参加	高知県安全教育プログラムに基づく避難訓練と防災学習の実施(防災・自助に関するアンケートは未実施)。	・①から④までの力が児童生徒に身につけており、災害時に自助・共助の行動が取れる(防災・自助に関するアンケートの実施:緊急時の自助行動、防災・減災についての理解100%)	①地域を巻き込んだ防災学習や南海トラフ地震を想定した避難訓練の実施。 1防災・減災の知識の確立(防災の授業実施年3時間以上) 2危険回避できる力の養成(防災の授業実施年3時間以上)(避難訓練年3回以上) 3避難行動(避難訓練年3回以上) 4災害時に役立つ情報と防災活動に積極的参加(地域の防災訓練等への参加1回以上)	○各校が学校安全計画通り、防災・地震・不審者対策と工夫した訓練を実施できた。 ○炊き出しや引渡しなど、家庭・地域(地域学校協働本部等)と協力した訓練を実施している学校もある。	〔達成評価〕 B ○キッズチャレンジデイや参観日を活用し、地域やPTAとともに防災教育に取り組むことができた。 ○防災・自助に関するアンケートは3月中旬までに実施。	3	3	 防災教育の推進 ①防災・減災の知識の確立 ②危険回避できる力の養成 ③避難行動 ④災害時に役立つ情報と防災活動に積極的参加					

<視点>

市民が協働し、ともに支え合い、高め合う地域社会を築きます
 (2) 子育て支援と親支援の推進

【関係性】A=5.4 B=4.3 C=2.1

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)
 A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5:想定を大きく上回る状況 4:想定以上の状況 3:想定どおりの成果
 2:改善が必要 1:見直しが必要

取組・事業名	事業の概要	平成30年度					内部評価	外部評価	到達目標の達成状況					備考
		年度当初の現状(課題等)	具体的な到達目標(有るべき姿・望ましい状況)-30年度末目標-	具体的な取り組み(計画・実施)	行動実績	到達目標の達成状況			H26	H27	H28	H29	H30	
1 香美市教育の日地域の人々を学校へ (学校)	香美市教育の日推進 ・「教育の日」への講師派遣支援 ・「教育の日」の取組等、情報発信支援 ・「教育の日」の体験活動支援	・毎月20日は、「教育の日」を実施している。 ・地域の方々の学校行事等への参加数(H28) *CS及び設置推進委員会の実績(のべ人数) 【片地小】514名 【大橋小】299名 【大橋中】331名	・参加者の増加 保護者だけでなく、地域の方々の参加も増加している ・教育の日の質の向上 参観するだけでなく、ともに学びあう場がある ・学校の役割の情報発信と啓発 地域に学校が取組んでいることを十分に発信することができている	①「教育の日」の市内への広報 ②地域の方が参加できる学校行事等を、市内に発信 ③市内全学校がコミュニティスクールに向けた取組の推進	①②広報に「教育の日」のお知らせや、各学校の行事等を掲載した。 ③市内全学校がコミュニティスクール(以下CS)に向けた取組を推進した。 H29 CS:片地小、大橋小、大橋中 H30 CS:番長小、舟入小、楠目小、大宮小、香北中 H31CS:山田小、鏡野中	【達成評価】 A ○【参考】地域の方々の学校行事・学習支援等への参加のべ人数(H29年9月~H30年9月まで)6,667名(地域学校協働本部) <u>保護者だけでなく、地域の方々の参加も明らかに増加している</u>	4	4	<p>香美市教育の日推進 ・「教育の日」への講師派遣支援 ・「教育の日」の取組等、情報発信支援</p>					
2 子育て専門家支援 家庭支援推進事業 (幼保)	特別な支援を必要とする家庭等に支援を行う。	・子育てを支援する上での専門家や支援員の増員が内外で求められている。	・特別支援保育コーディネーターを2名配置、家庭支援員(保育士)を全園に配置し、各園で把握している要支援家庭に対する育児相談等の働きかけが100%出ている。	・特別支援保育コーディネーターを2名配置、家庭支援員(保育士)を全園に配置し、各園で把握している要支援家庭に対する育児相談等の働きかけを100%行う。	・特別支援保育コーディネーターを1名配置。支援を必要とする園児や家庭に対して手助けができた。 ・家庭支援専任保育士を児童数の多いなかよし保育園とあけぼの保育園に各1名配置。担任と協力し、支援が必要な家庭の対応にあたった。	【達成評価】 B ・特別支援保育コーディネーター2名体制の予定であったが、適任者が見つからず、人員的には現状維持。 ・家庭支援員を2名配置することができたが、家庭支援に専任する時間が限られている。 ・職員の配置はできなかったが、園の職員と協力し、特別な対応が必要な全ての園児や家庭への支援はできた。	3	3	<p>子育て専門家支援家庭支援推進事業 ・専任家庭支援員配置、相談活動の充実 ・子どもの成長を見取る専門家派遣 ・保護者、保育士対象研修会実施(食育、子どもの発達、寝、特別支援等)</p>					
3 子育てひろば (幼保)	子育て親子の交流の場の提供と交流の促進を目的に子育て支援センターで子育てひろばを開催している。	・H29年度アンケート結果 子育てひろばの内容に満足している利用者の割合84.9%(5段階評価の5)	・子育てひろばの内容に満足している利用者の割合85%以上	①子育てセンターなかよし 子育てセンターびらふ 月~金(9:30~11:30)開催 子どもの発達や年齢に応じた遊びや子育ての知識などを提供し、子育て家庭の交流を促す ②アンケートを実施(新規登録者に随時および利用者にH30年7月、H31年1月)	①子育てひろばを開催(月~金)なかよしひろば184回開催;利用者延べ2910人 にこにこひろば182回開催;利用者延べ638人(12月末) ②新規利用者に子育てひろば登録票にてアンケートを実施(随時) ・子育てひろばを利用している保護者を対象に、ニーズ把握のため一定期間アンケートを実施(H30.7月、H31.1月)	【達成評価】 B 子育てひろばに満足している利用者の割合(5段階評価の5)74.5%(参考)子育てひろばに満足・やや満足している利用者の割合(5段階評価の5と4を合わせた割合)96.3%	3	3	<p>子育て支援センターで子育てひろばを開催</p>					
4 子育てに関する相談・援助 (幼保)	子育てひろばでの相談や電話・来所相談で随時相談を受け付けている。また、健康介護支援課と協働で子育て支援センターで月1回育児相談を実施している。	H29年度(2月末)相談・援助件数528件	・相談・援助件数年間480件以上	①保育士、栄養士、保健師等専門スタッフによるひろば・電話・来所等での相談(随時) ②育児相談 子育てセンターなかよし・びらふ(1回/月) ③産後2か月までの母子を対象とした産後サポート事業「ママのサポートルーム」を実施(1回/月) ④未就園で子育てセンターを利用していない家庭に対して保育士による訪問支援を実施	①保育士、栄養士、保健師等専門スタッフによるひろば・電話・来所等での相談(随時) ②育児相談 子育てセンターなかよし・びらふ(1回/月) ③産後早期の親子を対象とした産後サポート事業「ママのサポートルーム」を実施(1回/月) ④未就園で子育てセンターを利用していない家庭に対して保育士による訪問支援を実施	【達成評価】 A 相談・援助件数594件(12月末)年間見込792件 ①ひろば随時相談(12月末)275件(なかよし254件、びらふ21件) ②育児相談 なかよし:延234人 びらふ:延43人 ③ママのサポートルーム 母親延べ参加数 36人 ④訪問件数 6件	4	4	<p>子育てひろばでの相談 電話・来所などによる相談 育児相談の実施 ママのサポートルームの実施 訪問支援の実施</p>					
5 地域の子育て関連情報提供 (幼保)	毎月子育て通信を発行し子育てひろばのイベント情報や子育て情報を提供している。また、さまざまな機会を活用し地域の子育て関連情報を提供・広報活動している。	・H29年度(2月末)子育てひろば利用者数、相談・援助者数、一時預かり利用者数の合計4863人	・子育てひろば利用者数、相談・援助件数、一時預かり利用者数合計年間5500人以上	①子育ておひさま通信(発行・配布・ホームページへの掲載(1回/月)) ②楽しい子育て応援しますの配布・ホームページへの掲載(随時) 窓口への設置、乳幼児健診、保健師訪問等さまざまな機会を活用して配布 ③子育てガイド(年1回更新し、窓口への設置や関係機関等から配布(転入児の家庭には健康介護支援課で配布)) ④子育てサークルガイド(発行し、窓口への設置、子育てサークルや関係機関等配布) ⑤乳児健診でおひさま通信を配布し、利用を勧める(1回/月)	①「子育ておひさま通信」を発行・配布・ホームページへの掲載(1回/月) ②「楽しい子育て応援します」の配布・ホームページへの掲載(随時) 窓口への設置、乳幼児健診、保健師訪問等さまざまな機会を活用して配布 ③「子育てガイド」を年1回更新し、窓口への設置や関係機関等から配布(転入児の家庭には健康介護支援課で配布) ④「子育てサークルガイド」を発行し、窓口への設置、子育てサークルや関係機関等配布 ⑤乳児健診でおひさま通信を配布し、利用を勧める(1回/月)	【達成評価】 B 子育てひろば利用者数 相談・援助者数 一時預かり利用者数の合計4772人(12月末) 年間見込 5768人	3	3	<p>子育て通信の発行 地域の子育て関連情報の提供や 広報活動</p>					

<視点>

市民が協働し、ともに支え合い、高め合う地域社会を築きます

(2) 子育て支援と親支援の推進

【関係性】A=5:4 B=4:3 C=2:1

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)

A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5:想定を大きく上回る状況 4:想定以上の状況 3:想定どおりの成果

2:改善が必要 1:見直しが必要

平成30年度

取組・事業名	事業の概要	年度当初の現状 (課題等)	具体的な到達目標 (有るべき姿・望ましい状況) -30年度末目標-	具体的な取り組み (計画・実施)	行動実績	到達目標の達成状況	内部 評価	外部 評価	到達目標の達成状況					備考
									H26	H27	H28	H29	H30	
6 子育てに関する講習会 (幼保)	子育てひろばを活用して、子育てに関する子育て講座や講演会を開催している。	・H29年度アンケート結果 子育てひろばの内容に満足している利用者の割合84.9% (5段階評価の5)	・子育てひろばの内容に満足している利用者の割合85%以上	<p><子育て講座・講演会の開催></p> <p>①つくってみよう、親子ふれあいリズム、誕生会など</p> <p>②ミニミニ運動会(土曜日開催)</p> <p>③外部講師による歯の講座、食育講座、救急救命講座、絵本の読み聞かせ、ママのリラクソヨガを実施</p> <p>④県事業を活用し、「親子ふれあいマッサージ」「こどもの育ちとおもちゃの関わり」「小児科医による子育て講演会」を実施</p> <p>⑤歯の相談日の開催(2回/年)</p>	<p><子育て講座・講演会の開催></p> <p>子育て講座・講演会を70回開催(12月末)</p> <p>①つくってみよう、親子ふれあいリズム、誕生会など</p> <p>②ミニミニ運動会(土曜日開催)</p> <p>③外部講師による歯の講座、食育講座、救急救命講座、絵本の読み聞かせ、ママのリラクソヨガを実施</p> <p>④県事業を活用し、「親子ふれあいマッサージ」「こどもの育ちとおもちゃの関わり」「幼児体育」「小児科医による子育て講演会」を実施</p> <p>⑤歯の相談日を年2回実施し、お口に関する細かな相談にも応じることができた。</p>	<p>〔達成評価〕 B</p> <p>子育てひろばに満足している利用者の割合(5段階評価の5) 74.5% (参考)子育てひろばに満足・やや満足している利用者の割合(5段階評価の5と4を合わせた割合)96.3%</p>	3	3					子育て講座や講演会の実施	
7 子育てサークル支援 (幼保)	地域で活動している子育て支援団体とネットワークを構築し、地域全体で子育て支援の基盤づくりをすることを目的に子育てサークル交流会等を開催している。	子育て支援団体の連携のための取り組みを継続	・子育て支援団体の連携強化のための取り組みを継続	<p>①子育てサークル交流会、研修会を2回開催</p> <p>②子育てサークルろばみみ主催「ろばみみ会議」への参加</p> <p>③ろばみみ通信の配布、ハッピーチルドレンのちらしや子育て支援に関する研修会等の掲示をする</p> <p>④香美市立図書館と連携し、絵本の読み聞かせなどを実施</p> <p>⑤子育てひろばの行事へ民生委員や地域の人が参加</p>	<p>①子育てサークル交流会</p> <p>②子育て支援団体のろばみみが開催している「ろばみみ会議」への参加</p> <p>③ろばみみ通信の配布、ハッピーチルドレンのちらしや子育て支援に関する研修会等の案内等を掲示</p> <p>④香美市立図書館と連携し、絵本の読み聞かせを実施</p> <p>⑤香美市赤ちゃんすこやか訪問員定例会にて、子育てセンターの役割を紹介</p> <p>⑥子育てひろばの行事へ民生委員や地域の人が参加</p>	<p>〔達成評価〕 A</p> <p>交流会や研修会等を実施することで、子育て支援に役立つ情報の伝達や子育て支援団体の連携強化につなげることができた。</p>	4	4					子育て支援団体とネットワークを構築 ・子育てサークル交流会2回/年 ・ろばみみ会議への参加 ・子育てサークルの通信の配布やちらしの掲示 ・子育て支援に関する研修会の案内 ・絵本の読み聞かせを定期的実施	
8 一時預かり (幼保)	保育園等を利用していない香美市内に住所を有する就学前の児童を対象に、昼間において子育てセンターで一時的に預かっている。	・H29年度2月末一時預かり数940人	・一時預かり数年間750人以上	<p>①子育てセンターなかよし・びらふで実施(月～金)</p> <p>②保護者のニーズに対応できるように体制を整備し、可能な限り受け入れに努める</p> <p>③保育園児と交流するなど児童の心身の発育・発達を促し、保護者と関わりを持ちながら、親子を支援する</p>	<p>①子育てセンターなかよし・びらふで実施(月～金)</p> <p>②保護者のニーズに対応できるように体制を整備し、可能な限り受け入れに努めている</p> <p>③児童の心身の発育・発達を促し、保護者とも関わりを持ちながら、親子を支援している。</p>	<p>〔達成評価〕 A</p> <p>一時預かり延べ人数630人(12月末)(なかよし477人、びらふ153人)</p> <p>※年間目標は達成の見込み</p>	4	4					一時預かり事業の実施	
9 マタニティママのつどい (幼保)	妊娠・出産・子育てに関する知識や技術を学び、参加者同士の交流によって安心して子育てができることを目的に、妊婦とその家族を対象にマタニティママの集い(両親学級)を開催している。	・H29年度参加延べ人数49人	・参加延べ人数年間50人以上	<p>①沐浴実習、出産・育児、栄養などの各講座を3回ずつ年9回実施する</p> <p>②健康介護支援課が対象妊婦に個別通知し、さらに初妊婦には電話をして周知する</p> <p>③保健師、助産師、栄養士等専門スタッフによる講話と実技を実施</p>	<p>①健康介護支援課と協働で、子育てセンターなかよしにて開催。12月末までに6回終了し、延べ53人参加。</p> <p>②健康介護支援課が対象妊婦に個別通知し、さらに初妊婦には電話で周知している。</p> <p>③保健師、助産師、栄養士等専門スタッフによる講話と沐浴実習等を実施。</p>	<p>〔達成評価〕 A</p> <p>参加延べ数 53人(再掲:夫11人、その他家族5人)</p>	4	4					「マタニティママのつどい」を開催 ・子育てセンターなかよしにて年9回実施	
10 子育てサポート体験 (幼保)	将来親となる高校生を対象に、福祉・看護・保育・子育てに関心を持ってもらうことを目的に、子育てサポート体験を実施している。	・H29年度参加生徒全員が子どもや子育てに対して肯定的な思いを持っていた	・参加生徒全員が子どもや子育てに対して肯定的な思いを持つ	<p>①山田高校3年生家庭科専攻の生徒が、なかよしひろばでの親子との交流体験などを通じて、子どもや子育てについて学ぶ</p>	<p>①山田高校と連携し、山田高校3年生の「発達と保育」の教科を選択している生徒15人が、子育てひろば参加の親子との交流や、読み聞かせ体験などを行った。</p> <p>②子育てセンターなかよしにて、7月20日、23日、27日、30日、31日の5日間実施。</p>	<p>〔達成評価〕 A</p> <p>参加人数 15人</p> <p>参加者全員が、積極的に親子との交流を図り、子どもや子育てに対して肯定的な思いを持ってたことが、感想文や参加時の意見からわかった。 本事業を通じて、高校生が乳幼児や育児に関心を持ち、将来の仕事や子育てに活かそうとすることや、子育てセンターの役割を知ることにつながったのは意義があると考え</p>	4	3					子育てサポート体験の実施	

<視点>

市民が協働し、ともに支え合い、高め合う地域社会を築きます
 (3) 市民協働で地域の教育力を高める取組の推進

【関係性】A=5.4 B=4.3 C=2.1

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)
 A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5:想定を大きく上回る状況 4:想定以上の状況 3:想定どおりの成果
 2:改善が必要 1:見直しが必要

取組・事業名	事業の概要	年度当初の現状 (課題等)	具体的な到達目標 (有るべき姿・望ましい状況) -30年度末目標-	具体的な取り組み (計画・実施)	行動実績	到達目標の達成状況	内部 評価	外部 評価	平成30年度					備考
									H26	H27	H28	H29	H30	
1 学校支援地域本部 事業 (学校)	地域の人々が学校教育に係る活動の充実	・各地域学校協働本部がほぼ4部会以上で構成され、組織ができていない。 ・市主催の地域学校協働本部事業の連絡協議会ができていない。 ・活動のべ人数4,400人	・各地域学校協働本部が4部会以上で構成され、組織ができていない。 ・年間3回の地域学校協働本部事業の連絡協議会での実施。 ・活動のべ人数4,000人以上	①学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を充実させるために各学校のコーディネーターが中心となってボランティアの調整等を行い学校支援を行う。授業の補助、学習支援、環境整備、学校行事支援、登下校の見守り等の活動を行う。 ②市の運営委員会(コーディネーター連絡協議会)を充実させ、各学校の活動充実につながるよう進めていく。	○高知県地域コーディネーター研修会への参加に9名、安田会場に5名参加 ○高知県地域による教育支援活動研修会(7月19日:いの町)に管理職、コーディネーター等が参加。物部地域協働本部が県版モデルに認定。 ○東部地区教育事務所関係学校支援地域本部事業研修会を片地小で開催(12月20日)し、管理職、教職員、コーディネーター等が多数参加。 ○香美市地域コーディネーター連絡協議会3回実施	[達成評価] A ○各地域学校協働本部が4部会以上で構成され、組織ができていない。 ○年間3回の地域学校協働本部事業の連絡協議会での実施。 ○活動延べ人数1月末約6,600人以上	4	4	 地域の人々が学校教育に係る活動の充実 ・学習活動支援 ・学校整備支援等					
2 放課後子ども教室 推進事業 (学校)	放課後子ども教室推進事業	・舟入小・片地小及び中央公民館は継続して実施。鏡野中は同一内容で放課後等学習支援事業にH28年度より移行した。	・各校や公民館で放課後子ども教室ができていない(100%)	①舟入小学校・片地小学校で継続して実施することとなり、1週間あたり2~3日程度の開催を計画している。	○子ども教室開設日数(3月末見込み) 舟入小121日、片地小127日、中央公民館160日	[達成評価] A ○1日あたりの平均参加児童生徒数(1月末) 舟入小:32人 片地小:31人 中央公民館:10人(舟入、片地以外)	4	3	 放課後子ども教室推進事業 ①鏡野中、中央公民館 ②各小中学校で実施する					
3 コミュニティ・スクール 事業 (学校)	コミュニティ・スクール設置に向けて研究を進める	・香美市内8校のコミュニティ・スクールの設置 ・上記以外の2校で設置推進委員会	・各校でCS設置または設置に向けた準備ができていない(100%)	①学校運営協議会の組織づくり ②地域学校協働本部との連携づくり ③先進校視察等の研修	○香美市内8校に学校運営協議会を設置。 ○2校については、学校運営協議会発足に向けた会の開催 ○先進校視察(京都市4名) ○リーフレット・カレンダーの作成、配布	[達成評価] B ○香美市内8校で学校運営協議会を実施し、学校運営について協議。	3	3	 片地小学校での研究、実施 他校での導入研究推進 ・コミュニティスクール事業					
4 放課後児童クラブの 充実 (学校)	児童クラブ充実事業 ・児童クラブ指導員の研修の実施 ・児童クラブの環境整備	・6/8の児童クラブは指導員が認定資格を保有できている。 ・新築を予定している4児童クラブのうち大宮小・大新小児童クラブの新築により50%完了。山田小児童クラブは建築地について検討中。	・各児童クラブに認定資格を保有する指導員を配置し、安定した支援状況を確認する。 ・小学校から離れた場所にある4児童クラブについて、小学校内または近隣に新築工事を実施し、子どもにとって利便性が高く、機能的な施設整備を行う。	①認知資格を保有するため、高知県が開催する放課後児童支援員認定資格研修に参加する。 ②小学校から離れた場所にある、2児童クラブ(くじら・めだか児童クラブ)の新築工事に向け、小学校内又は近隣に施設建築のできる土地の環境を30年度を目処に整える。	○放課後児童支援員認定資格研修及びその他の研修等にも随時参加。 ○山田小児童クラブ建設地(めだか・くじら)については、南舎の隣接地とし、用地交渉も終了し、用地測量まで完了。	[達成評価] B ○放課後児童支援員認定資格研修に参加して9人が認定資格取得。 ○山田小児童クラブの建設用地については、用地も確定し、用地測量まで完了したため、来年度建設に向けて進めていく。	3	3	 児童クラブ充実事業 ・児童クラブ指導員の研修の実施 ・児童クラブの環境整備					
5 学校評価の推進 (学校)	学校評価の推進 ・学校関係者評価の推進と拡充 ・香美市教育振興基本計画と連動した評価のあり方研究、および評価	・計画的評価ができ、家庭、地域にHP等で広報ができていない。 ・香美市教育振興基本計画を直接に意識したものにはなっていない。 ・学校の全項目でA以上が15/50の30%である。	・家庭、地域に開かれた計画的評価ができていない。 ・香美市教育振興基本計画と連動した評価ができていない。 ・すべての学校の全項目でA以上である。	①平成30年度から、コミュニティスクールの学校運営協議会へ移行。	1学期にCS運営協議会委員への説明。3学期に評価を実施。その後、HPへの公開を予定。	[達成評価] B ・家庭、地域に開かれた計画的な評価ができていない。 ・香美市教育振興基本計画と連動した評価ができていない。 ・学校の評価は、3月末に集計予定である。(一部未達成の可能性が高い。)	3	3	 学校評価の推進 ・学校関係者評価の推進と拡充 ・香美市教育振興基本計画と連動した評価のあり方研究、および評価					

<視点>

夢を育み、新たな価値を創造する教育を展開します
(1) 次世代を見通した教育の環境整備と実践

【関係性】A=5.4 B=4.3 C=2.1

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)
A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5: 想定を大きく上回る状況 4: 想定以上の状況 3: 想定どおりの成果
2: 改善が必要 1: 見直しが必要

平成30年度

取組・事業名	事業の概要	年度当初の現状 (課題等)	具体的な到達目標 (有るべき姿・望ましい状況) -30年度末目標-	具体的な取り組み (計画・実施)	行動実績	到達目標の達成状況	内部 評価	外部 評価	H26	H27	H28	H29	H30	備考
1 ICT機器整備 (学校)	ICTの整備とそれを生かした授業の実施 ・ICT活用の授業の推進 ・ICT活用の授業の研究推進 ・ICT活用の交流活動の推進 ・ICT活用の情報発信の推進 ICT整備	・機器の整備は計画どおり進めることができている ・機器の利用が不十分な部分について、習熟を図る	・すべての学校で規模にあった教育サービスを受けているか(整備状況に差が無い・整備計画の遂行) ・電子黒板 ・タブレット ・PCまたは学習用スマートフォン ・教員用PC、タブレットPC ・スクリーンプロジェクター(100%) ・ふれんどルールのタブレット等の整備	①鏡野中へのwifi、タブレットの整備 ②ICT支援員1名の配置 工科大学生による支援(市指定校による情報機器を使った授業公開への支援) ③情報セキュリティに伴う整備	・山田小でタブレットを使った公開授業を行い、多くの参加者を得た。 ・ICT支援員を配置、HPの支援や教員の学習支援を行った。特に市の指定校には、週1で学校配置を行った。 ・工科大学生サークルとつなぐことができた。 ・計画どおり機器の導入ができた。	【達成評価】 A ・予定通り学校への配置が完了した。 電子黒板、タブレット、PCまたは学習用スマートフォン、教員用PC、タブレットPC、スクリーン、プロジェクター ・ふれんどルールのタブレット等の整備	4	4						ICTの整備とそれを活用した授業の実施 ・ICT活用の授業の推進 ・ICT活用の授業の研究推進 ・ICT活用の交流活動の推進 ・ICT活用の情報発信の推進 ICT整備 ・次代を見据えたICT整備 電子黒板、タブレットPC、等
2 情報モラル教育の推進 (学校)	教職員に関する情報モラル教育の実施 児童生徒に対する情報モラル教育の実施	・情報モラル教育が実施されている(全小中学校) ・情報モラルが指導できる教員・強い肯定37% ・教員のモラルや情報セキュリティの指導力は年々向上している。	・系統だった情報モラル教育が実施されている ・情報モラルが指導できる教員(強い肯定40%) ・児童生徒が電子機器の利点について理解し、使用できるとともに脅威についても理解している(100%)	①教員に対する研修は、保護者も含めた研修の機会のサポート ②児童生徒には、各校が警察や高知工科大学生によるSNS等の研修を推進…工科大学生への支援 ③情報セキュリティを含めた教員研修の実施(8月)	・学校では、教員や保護者、児童生徒に対して参観日等で実施している。 ・SNSの研修を工科大学生を招いて、2小学校が実施。	【達成評価】 B ・情報モラルが指導できる教員(強い肯定%)3月末国調査 ・児童生徒が電子機器の利点について理解し、使用できるとともに脅威についてほぼ理解している。 ・情報モラルの意識を高める研修を各校で行うことができた。 ・PTA組織による、ネット宣言を行い、応援ができた。	3	3						・教職員に対する情報モラル教育の実施 ・児童生徒に対する情報モラル教育の実施
3 情報リテラシー教育の推進 (学校)	教職員へのICTリテラシー研修の推進	・教職員は「興味関心を高める機器の使用ができる」(強い肯定44.6%) ・教職員はワード、エクセル、PP、メールは自由に使用できる(92.4%)	・教職員は「興味関心を高める機器の使用ができる」(強い肯定50%) ・教職員はワード、エクセル、PP、メールは自由に使用できる(90%)	①ICT支援員1名の配置と学校への支援 ②工科大学生による支援と研修(市指定校による情報機器を使った授業公開への支援)	・各校のHPの更新状況を2か月に1回程度確認した。 ・市指定校して、山田小、片地小、香長小、大宮小、大柄小、鏡野中を指定。大柄小から、本年度の取組の発表。	【達成評価】 B ・HPの更新については、学校で温度差がある。更新状況は、良くなってきている。 ・「興味関心を高める機器の使用ができる」教員やワード、エクセル、PP、メールは自由に使用できる教員は、確実に増えている。(調査は年度末国調査)	3	3						・教職員へのICTリテラシー研修の推進
4 環境教育 エネルギー教育の推進 (学校)	環境教育、エネルギー教育の推進 ・環境教育、エネルギー教育の香美市の教育計画の作成と実施 ・高知工科大学、県立山田高等学校と連携して推進 ・子どもエコクラブ活動、みどりの小道環境日記の活動促進 ・地域と連携したCO2排出削減促進事業での活動促進	・小学校において総合的な学習の時間を利用した環境学習がすすんでいる。 ・小学校を中心にCO2排出削減に向けて学習に取り組むとともに、地域の団体においてもCO2排出削減について啓発している(クールチョイス賛同者135人 H29. 2月末現在)。	・香美市内の小学校をはじめ工科大学など関係教育機関が連携して、環境教育・エネルギー教育に取組み(クールチョイスフェス等)、市ぐるみでCO2排出削減に関するクールチョイスに取組む(クールチョイス賛同者500人以上、47団体以上)。	①子どもeco活動交流会への参加 ②コツコツ削減コンテストの参加 ③みどりの小道環境日記への小学生の出席 ④CO2排出削減に向けたクールチョイスフェスの実施	○高知県学校新聞づくりコンクールへクールチョイスを啓発する新聞を出品 ○地方公共団体と連携したCO2排出削減促進事業の実施(香長小学校を中心に、鏡野中学校校区の全小学校で実施) ○CO2排出削減を啓発するプレゼンテーションを拠点校である香長小学校児童が、「よってたかって生涯学習フォーラム2019」にてステージ発表並びにブースでの発表を実施(1月26日)。	【達成評価】 B ○地方公共団体と連携したCO2排出削減促進事業において、市街地である鏡野中学校校区の全小学校で授業を実施し、1月26日に香美市民の1割が参加した「よってたかって生涯学習フォーラム2019」にてクールチョイスを啓発するプレゼンテーションを実施し、多くの市民や行政関係者、山田高校生等にCO2排出削減を啓発することができた。	3	3						環境教育、エネルギー教育の推進 ・環境教育、エネルギー教育の香美市の教育計画の作成と実施 ・高知工科大学、山田高等学校と連携して推進 ・子どもエコクラブ活動、みどりの小道環境日記の活動促進

【関係性】A=5.4 B=4.3 C=2.1

<視点>

夢を育み、新たな価値を創造する教育を展開します
 (1) 次世代を見通した教育の環境整備と実践

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)
 A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5: 想定を大きく上回る状況 4: 想定以上の状況 3: 想定どおりの成果
 2: 改善が必要 1: 見直しが必要

平成30年度

取組・事業名	事業の概要	年度当初の現状 (課題等)	具体的な到達目標 (有るべき姿・望ましい状況) -30年度末目標-	具体的な取り組み (計画・実施)	行動実績	到達目標の達成状況	内部 評価	外部 評価	年度					備考
									H26	H27	H28	H29	H30	
5 学校図書館システム化の推進 (学校)	学校図書システムの推進	・山田小、大宮小、楠目小、片地小、香長小は、導入済み。	・すべての小学校に設置 (31年度香北中、大栃中、32年度鏡野中)	①舟入小、大栃小に整備し、ネット環境と共に準備	①舟入小、大栃小の導入作業完了。	〔達成評価〕 A ・本年度の入替え作業完了	3	3	①	②	③			学校図書システム化の推進 ①山田小、②大宮小、 ③その他の小中学校で整備
6 外国語(英語)教育の推進 (学校)	外国語教育の推進 ・外国語指導助手の配置 ・外国語指導支援員の配置 ・教職員に対する研修の実施 ・外国語指導教材の整備 ・外国人とのふれあい体験活動支援	・【小】外国語を学ぶのは楽しい(高学年) 89% ・【中】英語の授業が分かる中学2年生81% ・【中】H29高知県学力定着状況調査 中2 -0.3p(県との差) ・【中】英検3級程度の力を持った中学3年生32.9% ・【教】自信を持って指導している 小学校高学年教員 58.8%	・「外国語を学ぶことが楽しい」小学校高学年90%以上 ・「英語の授業が分かる」中学2年生60%以上 ・外国語の指導を自信もってできると回答する教員小学校80%、中学校100%以上 ・英検3級程度の力を持っている中学3年生40%	①先進校視察 ②ALTの増員、外国語指導補助員等の手配、予算や普及 ③香美市版到達度目標とカリキュラムの作成 ④教員の授業改善を目指した研修の充実 ⑤県指定事業(英語指導教員配置による英語教育推進事業)の活用 ⑥姉妹校交流(オーストラリア)	①先進校視察及び研修会への参加 ・全国英語活動研究大会への参加(2月1日~2日 26名) ・京都市立朱雀第二小学校公開授業研究会(9月21日 2名、1月18日 2名) ・英語教育施策を考える研究会(2月16日 2名) ②ALT8名、外国語指導補助員2名の配置 ③到達度目標を香北中学校区で作成(今後、検証しながら香美市内へ広げる) ④教員の授業改善を目指した公開授業研究会及び校内研修会の実施 ・【公開授業研究会】大宮小学校(6月22日、10月24日、1月30日) ・【校内研修会】全小中学校(年間2回) ⑤英語指導教員による、全小学校への巡回(授業参観及び指導助言) ⑥交流校が校舎改築のため、実施できず。	〔達成評価〕 B ・【小】外国語を学ぶのは楽しい(高学年) 94.7% ・【中】英語の授業が分かる中学2年生66% ・【中】H30高知県学力定着状況調査 中2結果 ※3月公表 ・【中】英検3級程度の力を持った中学3年生45.5% ・【教】自信を持って指導している 小学校高学年教員61.5%	4	4	➡					外国語(英語)教育の推進 ・外国語指導助手の配置 ・外国語指導支援員の配置 ・教職員に対する研修の実施 ・外国語指導教材の整備

<視点>

夢を育み、新たな価値を創造する教育を展開します
(2) 高知工科大学との連携

【関係性】A=5.4 B=4.3 C=2.1

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)
A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5: 想定を大きく上回る状況 4: 想定以上の状況 3: 想定どおりの成果
2: 改善が必要 1: 見直しが必要

取組・事業名	事業の概要	平成30年度					内部評価	外部評価	H26 H27 H28 H29 H30	備考
		年度当初の現状(課題等)	具体的な到達目標(有るべき姿・望ましい状況)-30年度末目標-	具体的な取り組み(計画・実施)	行動実績	到達目標の達成状況				
1 高知工科大学について知る学習の推進 オープンキャンパス事業 (学校)	高知工科大学オープンキャンパス事業 ・中学1、2年生対象実施	・市内のすべての中学1・2年生を対象にキャリアチャレンジデイを、高知工科大学で実施。(100%)	・全中学生が中学校卒業までに高知工科大学に行ったことがある。(100%)	①キャリアチャレンジデイの継続	○中学1、2年生 ・キャリアチャレンジデイの実施・講師依頼	【達成評価】 A キャリアチャレンジデイも5年目となり、すべての中学生が2回以上工科大学を利用することができている。	4	4	→ オープンキャンパス実施 ・小学校5年生対象実施 ・中学校2年生対象実施	
2 高知工科大学留学生との交流 デイキャンプ開催 (学校)	デイキャンプの実施 ・小学生対象実施 ・中学生対象実施	・香美市デイキャンプアンケート「もっと英語を聞いたり話したりしたい」97% ・各学校での国際交流会の実施校9/10校	・「英語」や「外国の文化を身近に感じることができる。(肯定回答)95%以上 ・交流会を実施する学校100%	①香美市デイキャンプの実施 ②各学校での国際交流会の実施	○香美市デイキャンプの実施 期日:8月3日 参加者:52名(小中高生) 場所:大宮小学校 内容:①英語に親しむ活動 ②ピザづくり ○各学校で交流会の実施	【達成評価】 B ・「英語」や「外国の文化を身近に感じることができる。(本年度の県の調査項目になし) ・「もっと英語を聞いたり話したりしたい」96%(香美市デイキャンプアンケートより) ・「外国について学ぶのは楽しい」83.4%(県調査) ・各学校で交流会の実施校9/10校	3	3	→ インターナショナルデイ実施 ・小学校対象実施 ・中学校対象実施	
3 高知工科大学学生企画による小中学校学習支援活動 (学校)	高知工科大学 学生企画による小中学校学習支援活動 (H30より事業中止)								→ 高知工科大学学生企画による小中学校学習支援活動	
4 高知工科大学の施設や「知」を活用した連携活動の推進 教職員情報リテラシー研修の推進 例:情報教育担当教員との連携 (学校)	高知工科大学学生による教職員情報リテラシーに関する支援	・教職員は「興味関心を高める機器の使用ができる」(強い肯定44.6%) ・教職員はワード、エクセル、PP、メールは自由に使用できる(92.4%)	・教職員は「興味関心を高める機器の使用ができる(強い肯定50%) ・教職員はワード、エクセル、PP、メールは自由に使用できる(90%)	①工科大生による支援と研修(市指定校による情報機器を使った授業公開への支援)	・児童生徒には、工科大学生サイカットのメンバーを招いて、小学生や教員を対象に1小学校でSNSの研修を行うことができた。 ・工科大・キャストを招き、2小学校で情報教育の補助を行ってもらった。	【達成評価】 B ①「興味関心を高める機器の使用ができる」教員(小38.1%・中33.3%) ②ワード、エクセル、PP、メールは自由に使用できる教員は、確実に増えている。(小85.7%・中91.7%)3月末国調査	3	3	→ 高知工科大学学生による教職員情報リテラシーに関する支援	

<視点>

夢を育み、新たな価値を創造する教育を展開します

(3) 生涯を通じた豊かな学びと文化・芸術、スポーツ活動の充実

【関係性】A-5.4 B-4.3 C-2.1

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)

A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5: 想定を大きく上回る状況 4: 想定以上の状況 3: 想定どおりの成果

2: 改善が必要 1: 見直しが必要

取組・事業名	事業の概要	平成30年度					内部評価	外部評価	H26	H27	H28	H29	H30	備考
		年度当初の現状(課題等)	具体的な到達目標(有るべき姿・望ましい状況)-30年度末目標-	具体的な取り組み(計画・実施)	行動実績	到達目標の達成状況								
1 芸術・文化活動の拠点となる市内社会教育施設の活用促進 (生涯)	中央公民館は生涯学習の拠点として、市民の創造的な学習活動の推進を図ると共に、自発的、自主的な奉仕活動を支援することを目的として、 ・主催事業による研修・学習の場を提供、2. 貸館事業による市民の学習活動の推進、3. 地区公民館との連携、について取り組んでいる ・美術館においてはアトリエや展示室の貸出により、芸術活動の育成・発表の場を提供している。芸術活動支援等について貸出できる展示室、アトリエの場所が限られているので、できる限り利用ニーズに応えるため、日程調整等を行う。ワークショップ開催後はアンケートを実施する予定である。	・公民館においては主催事業の実施と貸館による文化サークル活動の場の提供をしている。 ・美術館においてはアトリエや展示室の貸出により、芸術活動の育成・発表の場を提供している。芸術活動支援等について貸出できる展示室、アトリエの場所が限られているので、できる限り利用ニーズに応えるため、日程調整等を行う。ワークショップ開催後はアンケートを実施する予定である。	公民館 ・新たな公民館利用サークル数を年間2サークル以上発足させ、目標を50サークルにする。 美術館 ・乳幼児から高齢者まで幅広い世代に芸術に触れてもらい、文化芸術活動の支援と活性化を図り、美術館ワークショップ開催後のアンケートで満足度85%以上を目指す。	公民館 ①香美市市民セミナーで、人材バンクに登録している方を講師とし、物作り教室等を開催していくとともに、各地区公民館等でも人材バンク登録者を講師とした教室・講座等を開催するよう連絡・協議を行っていく。 ②人材バンク登録者を利用し、新たにサークル活動として発足するものについては、公民館利用料の一部減額するなど定期的に活動が行えるよう支援を行っていく。また文化協会に加盟していただけるように呼びかけを行っていく。 美術館 ①芸術サークルの活動の場としてアトリエ・展示室を提供する。また、文化展や小・中・高校生の作品展示の他、子育て支援サークルの利用においては、使用料の免除等で活用促進をはかり、幅広い層が芸術に触れる場を提供する。受講者に満足してもらえるようなワークショップの機会を提供する。	○公民館 ①市民セミナーにおいて、人材バンク登録者に指導してもらいものづくり(こけを使ったこけ玉作り教室など)を実施した。 ○美術館 【芸術サークル、展示会へのアトリエ・展示室貸出】 【芸術サークル】 ・すみちゃんの絵手紙教室 ・パステル水彩画教室 ・日本画教室 【アトリエ貸出】 ・パッチワークキルト作品展(展示室貸出) ・文化展 平成30年10月20~21日 ・高知県立山田高等学校第28回芸術三科合同発表会 平成31年1月9~14日 ・香美市児童生徒作品展(平成31年2月1~4日開催) 【ワークショップ】 【子どもワークショップ】 ・飛び出すカード 7月22日 ・墨であそぼう! 7月22日 ・化石をつくらう! 8月5日(おとなワークショップ) ・草木染めアームカバーづくり 8月25日 ・バードカービング 8月26日 ・美術史をまなぶ 2月11日 【子育て支援サークルへの協力】 ・「るばみみ」が開催する「きつぽ・あーとぶろじえくと」の作品制作指導、作品解説などへの協力(年11回)	○公民館(達成評価) B 人材バンクへの登録者は昨年と同数である。公民館・地区公民館活動において登録者に講師依頼しさまざまな教室を開催している。今後も引き続き教室を行い文化協会やサークル活動に結びつくよう開催していく。 ○美術館 [達成評価] B 芸術活動支援等について、行動目標に掲げた内容は実施できており、展示室は貸出期間に限りがあり定期的な利用者には貸し出しできなかったが、アトリエは利用ニーズに応え貸し出したことにより、同時開催の展示会の入場者も増え相互に良い影響があった。引き続き日程調整等を行い、芸術活動の育成・発表の場を提供していく。ワークショップ開催後のアンケート結果により、平成31年1月時点で子どもワークショップ回答者30名の内、楽しかったとの回答が25名(83%)、普通との回答が5名、おとなワークショップ回答者25名の内、満足との回答が25名(100%)という回答を受け、満足度91%の想定以上の結果を得た。しかしながら、所用による途中退席等がありアンケートの回答率は全体の8割であったため、内部評価としては想定どおりの成果と判断した。	3	3					公民館 人材バンクへの登録者の募集を継続すると共に、登録者の活用について広く広報活動を行っていく	
2 民俗芸能や伝統行事を後世に残す取組の推進 (生涯)	○無形民俗文化財を保存し、継承する団体への補助 ○芸術祭(文化展)オープニングセレモニーを依頼するなど、公開を促進	・新たな保存会を平成29年1月設立。 ・人材については、香美市外在住の方も多く、十分な人材は集まっていない状況だが、今後は市内で活動し、徐々に広報を充実させ確保に努める。	・公開と活用は定例日に実施する以外にも実施 ・新たに発足させた一団体が、無形文化財の保存と継承を行う	・月二回の伝承教室を定着させる(毎月第2、4水曜の夜) ・香美市内の催事で、年2回公開 ・香美市内の小学校で、1~3年生を対象として伝承教室を開催する	・月二回の伝承教室は定着した(毎月第2、4水曜夜) ・香美市内の催事で年2回公開した(湖水祭/生涯学習フォーラム) ・香美市内の小学校での伝承教室開催は未実施 ・無形文化財の保存と継承を行うことはできている	[達成評価] B ・伝承教室の定着により、次世代への継承がより進んだ ・公開についての依頼は増加している ・今後は小学校での伝承教室を実施することができるように衣装を揃えるなど、ハード面の補強が必要	3	3					保存会設立 公開と活用	

<視点>

夢を育み、新たな価値を創造する教育を展開します

(3) 生涯を通じた豊かな学びと文化・芸術、スポーツ活動の充実

【関係性】A=5.4 B=4.3 C=2.1

行動実績の欄(平成30年度末の達成目標の到達評価)

A:すべて達成 B:一部未達成 C:すべて未達成

5:想定を大きく上回る状況 4:想定以上の状況 3:想定どおりの成果

2:改善が必要 1:見直しが必要

取組・事業名	事業の概要	平成30年度				内部評価	外部評価	H26	H27	H28	H29	H30	備考
		年度当初の現状(課題等)	具体的な到達目標(有るべき姿・望ましい状況)-30年度末目標-	具体的な取り組み(計画・実施)	行動実績								
3 (生涯) 生涯スポーツの推進	・各種大会やスポーツイベントを開催する事により、スポーツに興味を持ってもらえる場を提供する。	・29年度各種大会等はエリアネットワーク事業を本来の趣旨に見直し開催したので前年より少ない42回となった。 ・29年度の改修・改築後の施設の利用者は3施設完成したので、30年2月現在で25,662人と25年度の利用者より大幅に増えると推計されている。	・各種大会やファミリースポーツフェスティバル、体カテスト、エリアネットワーク事業等でスポーツ活動参加の機会を25年度の33回から40回とする ・改修・改築後の施設の利用促進により利用者数を3施設25年度の約18,400人から22,000人とする	①香美市体育大会や軽スポーツ大会等各種大会を開催する。 ファミリースポーツフェスティバルや体カテストを行うとともにエリアネットワーク事業や県民スポーツフェスティバルへの参加のPRをする。 ②改修の終わった3施設の利用者を増やすため、特にテニスコートの利用者の調整を図る。	香美市体育大会:7種目・388名(ソフトボール:中止) 香美市軽スポーツ大会:3種目・133名 市主催大会等:5大会・976名 県主催大会 県民スポーツフェスティバル:12競技・106名 市町村対抗駅伝競走:2チーム・27名 体カテスト:53名 ファミリースポーツフェスティバル:377名 エリアネットワーク事業:4回105名 (テニス:雨天中止) 第72回全国レクリエーション大会in高知(ペタンク):84人 【実績は、H30.1月現在のもの】	3	4					広報やホームページによる各事業のPR 利用団体と調整を取りながら、スポーツ施設の環境整備をする	
4 (生涯) 公民館活動の活性化	・成人教育においては市民大学、市民セミナー、パソコン教室を実施し、青少年教育においてはこども教室の事業を実施している。	・市民大学や市民セミナー・パソコン・英会話等の講座・教室および、子ども教室を継続して開催する。	・市民大学(1000人) ・市民セミナー(500人) ・成人パソコン教室(250人) ・成人英会話教室(150人) ・こども教室(1300人) 安定した参加者数を上記とする	①成人教育 市民大学(講演)を4講座 市民セミナー(講座・教室)を10講座 パソコン教室を2講座(各8回) 英会話教室を3講座(各8回)を実施する予定。 ②青少年教育 子ども英語教室・パソコン教室・料理教室・ものづくり教室等 全16教室を開催予定	・市民大学(健康講座、環境講座、人権講座) ・市民セミナー(園芸教室、ものづくり教室、携帯電話教室、市民セミナー祭り、押し花キャンダル教室、料理教室) ・パソコン教室(初級ワード教室、初級エクセル教室) ・英会話教室(初めての英会話、中級英会話) ・こども教室(子ども将棋、こども公民館、こどもこーらす、英語教室(低・中・高学年、物部、香北教室)子どもパソコン教室、料理教室、スポーツ教室、野外活動、書初め大会、折り紙教室、バルーンアート教室・英語であそぼう ・地区公民館長主事会の開催	3	3					市民大学 市民セミナー パソコン教室 英会話教室 子ども教室 各事業とも参加者の増加を図る広報活動を進めると共に若い世代の参加を増やす取り組みをしていく	
5 (生涯) 図書館活動の充実	①図書資料の収集 ②イベントの開催 ③学校や読書ボランティアとの連携	・平成29年度年間1人あたりの貸出冊数は3.12冊である。 ・平成29年度の子ども司書資格取得者は23名(6%)で、20名弱の年もある。	・年間1人あたりの貸出冊数を4冊以上に する ・新たな子ども司書資格者を児童数の5%以上にする。(小学5,6年)	①中高生向けの広報紙を作成、イベントを開催する ②出前講座の実施や、乳幼児お話し会等で図書館の広報活動に努める。 ③英語多読資料、点字絵本、大活字本を購入する。 ④ボランティアと協働した図書館作りをする(おはなし会、図書館まつりなど) ⑤学校、図書支援員との連携を密にし、子ども司書養成講座を推奨し、受講者を確保する	平成30年7月から貸出冊数を5冊から10冊に増加させた。 小学校への出前講座を開催し、保育園、幼稚園、子育て支援センター、および転入者へ図書利用案内を配布した。 生活科、総合的な学習の時間への対応を行った(利用の仕方、ブックトーク等)。 乳幼児や保護者のお話し会で広報活動に努めた。 寄贈図書、紙上資料やアンパンマン関連図書、英語多読資料、LLブックの充実を図った。 ボランティアと協働した図書館づくりを行った(3館合同図書館まつり、おはなし会、英語で楽しむクリスマス会)。 学校図書支援員との連携を密にし、「子ども司書養成講座」受講者を確保できた。	1	3					第二次香美市子ども読書活動推進計画に基づいた活動	